## 芦屋市水道事業誌

平成28年度



芦屋市上下水道部

### 芦屋市民憲章

- 1 わたくしたち芦屋市民は、 文化の高い教養豊かなまちをきずきましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、 自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は, 青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、 健康で明るく幸福なまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は, 災害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう。

### 芦屋市水道事業経営理念

~芦屋市水道ビジョン等から抜粋~

市民に対し「安心・安全」、「持続」ある水道を目指し、より豊かで「環境」に配慮した快適な社会の創造に貢献していきます。

また、開かれた水道事業を目指し「情報公開」をより一層推進していきます。

- 1 全体の奉仕者として、職務に全力を挙げて取り組みます。
- 1 経営改善に努め、最少の経費で最大の効果を挙げます。
- 1 自己研鑽に努め、技術力を向上させます。

## 「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」

(第58回水道週間標語)

### 芦屋市水道事業管理者の権限を行う市長ごあいさつ



平成28年度水道事業年報をお届けいたします。

本市水道事業では、長らく年報を発行しておりませんでしたが、私たちの業務記録を正確に残すために、本市水道事業の内容を市民並びに他の水道事業企業体の皆さまにも広くご報告しご理解いただけるように、今年度から作成を再開いたしました。

水道事業を取り巻く環境は、人口減少社会の到来や 節水機器の普及などにより、有収水量(蛇口からの使 用水量)は平成12年度をピークに減少に転じ平成45

年にはピーク時から約25%減少する見込みです。これに伴い水道事業の収益が減少し、水道事業の経営状況がますます厳しくなってきます。その一方で、水道管路は法定耐用年数が40年であり、昭和30年代の高度成長期に整備された施設の更新が進まないために、水道管路の経年化率(老朽化)は上昇傾向にあります。

このような状況を背景にして、平成28年度は、国道43号の老朽管路の改修にあたり最新の技術革新による耐震性及び耐久性に優れた100年耐用の「GX形ダクタイル鋳鉄管」の布設を原則にして工事を進めました。また、第2中区配水池の耐震化事業に着手いたしました。さらに将来計画の見直しでは、安定的な経営を実現するために、「芦屋市水道ビジョン」の見直しや「芦屋市経営戦略」の策定などにも着手したところです。人材育成では、技術研修の充実を図るとともに、公的資格取得の促進に努め、確かな技術力で「安心・安全でおいしい水」の供給を持続してまいりました。

本水道事業誌は、私たちの水道業務を広く周知し、多方面からのご意見を賜りながら改善を加えていく資料と考えております。忌憚のないご意見、ご指導を賜り、今後の水道事業経営の発展に活かしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

芦屋市長 山中 健

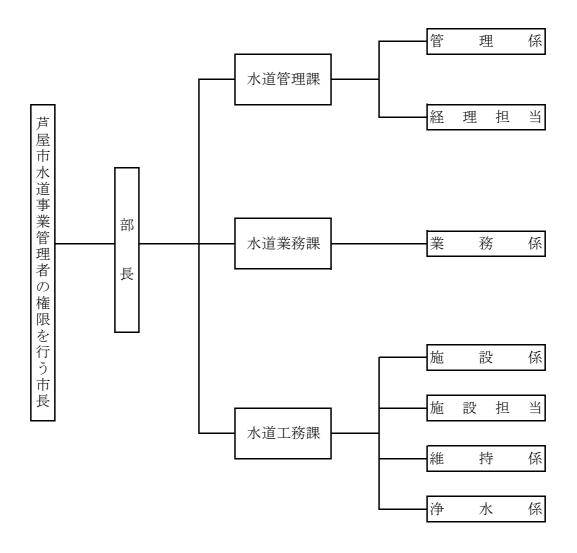
## 目 次

第 1	編の機構と人事	8	<b>楽品使用</b>
1	機構図 ・・・・・・・1		
2	事務分掌 ・・・・・・・4	第5	編の水道管理課の業務
3	職員配置状況 ・・・・・・8	1	経営の推移・・・・・・・69
4	技術資格等保有状況 ・・・・8	2	収益的収入及び支出・・・・70
5	職員名簿 ・・・・・・・9	3	資本的収入及び支出・・・・・7
6	給与支給状況 ・・・・・10	4	損益計算書・・・・・・72
		5	貸借対照表・・・・・・・7:
第2	編の水道事業の概要	6	キヤッシュフロー計算書・・・74
1	沿革 ・・・・・・・・11	7	企業債明細書・・・・・・78
2	市人口及び給水人口の推移 ・・14	8	給水原価と供給単価・・・・・76
3	水道施設の概要 ・・・・・16	9	経営指標 ・・・・・・・78
4	配水フローチャート ・・・・26	10	水道事業ガイドランの業務指標・80
5	給水区域図 ・・・・・・・27		
6	阪神水道企業団の概要 ・・・・28	第6	編資料
		1	災害対策・・・・・・・88
第3	編の水道業務課の業務	2	防災訓練 ・・・・・・88
1	水道お客様センタ―の概要・・・31	3	研修実施状況・・・・・・92
2	使用水量と水道料金 ・・・・34	4	論文・学会発表状況・・・・・94
3	分担金収納と開閉栓状況 ・・・35	5	新聞記事等抜粋・・・・・・96
4	給水装置工事申請受付状況 ・・36		
5	水道メーター取替状況・・・・39		
6	水道料金体系の変遷 ・・・・40		
第4	編の水道工務課の業務		
1	施設整備計画 ・・・・・・57		
2	改良工事の概要 ・・・・・57		
3	漏水調査 ・・・・・・・59		
4	漏水対応 ・・・・・・・59		
5	水質検査・・・・・・・・60		
6	配水量(奥池・奥山・阪神水道)66		
7	電力使用量 ・・・・・・・67		

# 第1編 機構と人事

### 第1編 機構と人事

### 1 機構図



### 1) 歴代の水道事業管理者(市長)と水道部長

歴代の水道事業管理者(市長)及び水道部に昇格した昭和 34 年からの水道部長変遷は表 1-1 及び表 1-2のとおりである。

表1-1 歴代水道事業管理者(市長)

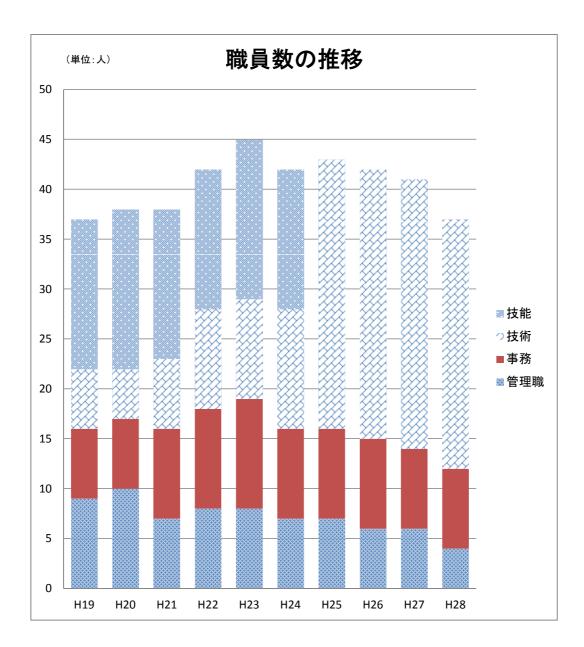
X1 1 座 (小屋 ) 来自在自(市及)								
水道事業	就任年月	退任年月						
管理者 (市長)	(西曆)	(西暦)						
大利 市右衛門	昭和16年1月	昭和20年1月						
2019 115日 円1 1	(1941. 01)	(1945. 01)						
   長岡 喜十郎	昭和 20 年 2 月	昭和 21 年 12 月						
区间 書 口	(1945.02)	(1946. 12)						
杉岡 藤右衛門	昭和22年4月	昭和23年8月						
1夕四 膝石亀门	(1947.05)	(1948. 08)						
<b>港</b> 十十年明	昭和 23 年 10 月	昭和27年9月						
猿丸 吉左衛門	(1948.10)	(1952.9)						
内海 连	昭和27年9月	昭和39年9月						
内海 清	(1952.9)	(1964.9)						
渡辺 万太郎	昭和39年9月	昭和 50 年 3 月						
渡辺 万太郎	(1964.9)	(1975.3)						
から、 4本、白7	昭和 50 年 4 月	昭和62年4月						
松永 精一郎	(1975.4)	(1987.4)						
	昭和62年4月	平成3年4月						
山村康六	(1987.4)	(1991.4)						
	平成 3年4月	平成 15 年 6 月						
北村春江	(1991.4)	(2003. 6)						
11 th h	平成 15 年 6 月	平成 年 月						
山中健	(2006.6)	( )						

表1-2 歴代水道部長

水道部長	就任年月	退任年月
木村 信忠	昭和34年4月	昭和 43 年 11 月
堀 義春	昭和 43 年 12 月	昭和 47 年 4 月
山崎 三郎	昭和47年4月	昭和 48 年 3 月
柴谷 一郎	昭和 48 年 4 月	昭和 55 年 3 月
勝村 治	昭和 55 年 4 月	昭和 58 年 3 月
豊田 幾雄	昭和 58 年 4 月	昭和62年6月
長谷川 節男	昭和63年7月	平成 2年11月
竹内 庸矩	平成 2年12月	平成 6年 3月
溝田 亘	平成 6年 4月	平成 10 年 3 月
久内 奎吾	平成 10 年 4 月	平成 15 年 3 月
林 一夫	平成 15 年 4 月	平成 17 年 3 月
小野 政春	平成 17 年 4 月	平成 21 年 3 月
安田 孝	平成 21 年 4 月	平成 25 年 3 月
青田 悟朗	平成 25 年 4 月	平成 28 年 3 月
古田 晴人	平成 28 年 4 月	平成 年 月

※平成25年度から組織変更により上下水道部長

### 2) 職員数の推移



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
管理職	9	10	7	8	8	7	7	6	6	4
事務	7	7	9	10	11	9	9	9	8	8
技術	6	5	7	10	10	12	27	27	27	25
技能	15	16	15	14	16	14	0	0	0	0
計	37	38	38	42	45	42	43	42	41	37
※管理職										

#### 2 事務分掌

- 1) 水道管理課
- (1) 事業計画の策定及び総合調整に関すること。
- (2) 組織及び職制に関すること。
- (3) 文書,公印及び統計に関すること。
- (4) 市議会並びに公告式及び令達に関すること。
- (5) 条例,管理規程等の制定及び改廃の手続並びに指導に関すること。
- (6) 事務管理に関すること。
- (7) 職員の人事,給与,研修,福利厚生及び公務災害補償に関すること。
- (8) 職員の労働組合に関すること。
- (9) 広報その他宣伝に関すること。
- (10) 公聴その他情報の収集に関すること。
- (11) 公益社団法人日本水道協会に関すること。
- (12) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (13) 予算,決算及び財務諸表の作成に関すること。
- (14) 原価計算,経営分析及び料金制度に関すること。
- (15) 企業債及び一時借入金に関すること。
- (16) 現金、有価証券の運用及び出納保管に関すること。
- (17) 金融機関に関すること。
- (18) 工事その他入札及び契約に関すること。
- (19) 不動産の取得、管理及び処分に関すること。
- (20) 工事用器資材その他物品の調達,出納保管,棚卸及び不用品処分に関すること。
- (21) 車両管理の総括に関すること。
- (22) その他財務及び経営に関すること。
- (23) 所管に属さない業務の所管の決定に関すること。

- (24) 阪神水道企業団に関すること。
- (25) 課の庶務に関すること。

### 2) 水道業務課

- (1) 開閉栓の執行に関すること。
- (2) 量水器の取替え等によるデータの出入力に関すること。
- (3) 使用水量の計量及び認定に関すること。
- (4) 給水装置の新設,増設等諸工事の申請受理及び許可に関すること。
- (5) 給水管分岐工事等の施工に関すること。
- (6) 給水装置工事の設計に関すること。
- (7) 給水装置工事の検査及び反則工事の取締り並びにその処理に関すること。
- (8) 給水装置工事施行基準の制定及び改廃に関すること。
- (9) 芦屋市指定給水装置工事事業者の登録に関すること。
- (10) 給水装置台帳の保管に関すること。
- (11) 給水装置管理の指導に関すること。
- (12) 貯水槽水道に係る管理指導及び情報提供に関すること。
- (13) 量水器の維持管理及び散水栓統合に関すること。
- (14) 集中検針装置の維持管理に伴う指導に関すること。
- (15) その他給水に関すること。
- (16) 水道料金等の調定、収納の確認、還付・充当・清算及び滞納徴収並びにこれらの事務の整理に関すること。
- (17) 水道使用上の取締り及び処分に関すること。
- (18) 水道使用に関する申請及び契約に関すること。
- (19) 水道使用状況の調査及び統計の資料に関すること。
- (20) その他水道使用に関すること。

- (21) OA機器等の調整に関すること。
- (22) 委託業者の管理に関すること。
- (23) 課の庶務に関すること。

### 3) 水道工務課

### (ア) 施設係

- (1) 水源開発に関すること。
- (2) 水道事業の計画、調整及び認可申請に関すること。
- (3) 拡張工事の計画、設計及び施行に関すること。
- (4) 送・配水管及び配水補助管(以下「配水管等」という。)整備の計画並びに管理の総括に関すること。
- (5) 配水管等の新設,改良,移設等諸工事の計画及び協議に関すること。
- (6) 配水管等に係る諸工事の設計及び施行に関すること。
- (7) 請負施工工事に係る小区域の断水,排水及びこれらに伴う通知並びに応 急給水に関すること。
- (8) 配水管等の台帳整備及び保管に関すること。
- (9) 浄水施設の新設及び改良に係る計画、設計及び工事施工に関すること。
- (10) 災害復旧に関すること。
- (11) 課の庶務に関すること。

#### (イ)維持係

- (1) 配水管等、配水管等の附属装置及び給水装置の維持管理に関すること。
- (2) 漏水、故障修繕等の施工に関すること。
- (3) 屋内の出水不良,異常水質の調査及び応急対策に関すること。
- (4) 応急給水に関すること。
- (5) 所管工事の精算及び集計に関すること。
- (6) 修繕の受付に関すること。

- (7) 水道諸施設の維持管理業務に関すること。
- (8) 配水管等の水圧調査及び配水の調整に関すること。
- (9) 配水管等の漏水防止、出水不良及び異常水質の調査に関すること。
- (10) 道路関連工事の協議,立会い,施工及び事故防止の指導に関すること。
- (11) 給水車両の管理に関すること。

### (ウ) 浄水係

- (1) 水道の水源管理及び集水地帯の保全に関すること。
- (2) 取水, 浄水及び送配水に関すること。
- (3) 取水, 導水, 貯水, 浄水, 送・配水等諸施設の維持管理に関すること。
- (4) 水質検査に関すること。
- (5) 応急取水に関すること。
- (6) 浄水場の維持管理に関すること。
- (7) その他浄水に関すること。

### 3 職員配置状況

事務職9人 技術職28人 計37人

(単位 人)

					(単位 八)
部	課	粗当 職種	事務	技術	計
	1	管理係	3		3
	水道管理課 課 長	経営管理担当			
		経理担当	1		1
	水道業務課 課 長	業務係	3	5	8
部長		料金担当	1		1
	水道工務課課果	施設係		5	5
		施設担当		1	1
		施設担当		1	1
		維持係		6	6
		浄水係		7	7
部長・課長	4	計	8	25	33

水道管理課課長は、経営管理担当主査の事務取扱を行う。

### 4 技術資格保有状況

資 格	認定	人 数
技術士(上下水道部門)	玉	1
技術士 (建設部門)	玉	1
測量士	玉	1
測量士補	玉	3
1級土木施工管理技士	玉	3
1級造園施工管理技士	玉	2
2級土木施工管理技士	玉	1
給水装置工事主任技術者	玉	2
水道施設管理技士(浄水1級)	(公社) 日本水道協会	1

## 5 職員名簿 1)正規職員

	74.只			
課名	担当	役職名	平成28年 4月1日現在	平成28年 4月1日現在
			通算経験年数	水道経験
部 長	上下水道部長	部長	32年0月	00年 0月
水道管理課	(10月異動)	現課長	22年0月	00年 0月
水道管理課	(10月異動)	前課長	22年0月	08年12月
水道管理課	経理担当	主査	16年0月	00年12月
水道管理課	管理係	係長	10年0月	01年12月
水道管理課	管理係	主事	7年0月	04年12月
水道管理課	管理係	主事補	1年0月	00年12月
水道業務課	業務係	主任	30年11月	30年12月
水道業務課	業務課	課付	30年11月	07年12月
水道業務課	業務課長	課長	29年0月	12年12月
水道業務課	業務課主査	主査	21年0月	04年12月
水道業務課	業務係	係長	16年0月	03年12月
水道業務課	業務係	技師	7年0月	04年12月
水道業務課	業務係	技師	7年0月	06年12月
水道業務課	業務係	主事	3年0月	02年12月
水道工務課	浄水係	主席主任	36年10月	32年12月
水道工務課	浄水係	主任	36年10月	36年10月
水道工務課	浄水係	主任	36年10月	36年10月
水道工務課	浄水係	主席係長	35年5月	35年06月
水道工務課	維持係	主任	34年10月	07年12月
水道工務課	浄水係	主任	34年10月	34年10月
水道工務課	浄水係	主任	34年3月	30年12月
水道工務課	浄水係	主任	34年0月	31年10月
水道工務課	工務課長	課長	32年0月	24年12月
水道工務課	維持係	主任	30年11月	04年12月
水道工務課	維持係	主任	25年0月	04年12月
水道工務課	施設係	係長	21年0月	11年12月
水道工務課	維持係	係長	20年0月	06年12月
水道工務課	施設係	主査	17年0月	00年12月
水道工務課	施設係	主査	6年0月	05年12月
水道工務課	施設係	技師	5年0月	04年12月
水道工務課	施設係	技師	5年0月	01年12月
水道工務課	施設係	技師	3年0月	02年12月
水道工務課	施設係	技師補	2年0月	01年12月

### 2) 再任用職員

課名	担当	役職名	4月1日現在	4月1日現在
球 名	理曰	汉4版石	経験年数	水道経験
水道業務課	業務係	主任	45年0月	33年12月
水道業務課	業務係	主任	42年0月	30年12月
水道工務課	維持係	主任	37年11月	33年12月
水道工務課	維持係	主任	42年9月	42年10月

### 6 給与支給状況

	職	員 数			手	当	等					
職種別	年度末	延職員 (職員 数×1 2月)	基本給	時間外勤務手当	特殊勤務手当 (有害物・雨 中 手 当 等)		その他手当	計	슴 計		平均年齢	平均続级数
	人	人	円	円	円	円	円	円	円	円	歳	年
事務職員	9	108	38, 431, 388	1, 570, 733	5, 400	13, 714, 940	4, 925, 172	20, 216, 245	58, 647, 633	543, 034	41	18
技術職員	28	336	130, 839, 860	22, 673, 527	2, 242, 020	48, 498, 220	14, 889, 808	88, 303, 575	219, 143, 435	652, 213	48	25
全職員	37	444	169, 271, 248	24, 244, 260	2, 247, 420	62, 213, 160	19, 814, 980	108, 519, 820	277, 791, 068	625, 656	46	23

### (注) 基本 給 = 給 料 + 扶養手当 + 地域手当

その他手当 = 住居手当 + 管理職手当 + 通勤手当 + 管理職員特別勤務手当 + 児童手当

### (注) 年 収 = 平均月収 × 12月

	平	均	月	収		平	均	年	収		
				P	Ч					F	Ч
事務職員		543,	034				6, 510	6, 404			
技術職員		652,	213				7, 820	6, 551			
全 職 員	625, 656					7, 50	7, 867				

# 第2編 水道事業の概要

### 第2編 水道事業の概要

### 1 沿革

兵庫国体開催(9.30~10.10)
-—条例制定
屋高校廃校
市長 山中 健 就任
学校新校舎完成
屋駅バリアフリー化
完新体制スタート 庁舎で業務開始
† <b>?</b>

	年号	月	日	西暦	芦屋市水道事業主要事項	その他水道関連事項	市史参考事項
平成		•				・阪神水道企業団からの分賦基本水量48.972	
22年度		4	1		・「芦屋市水道ビジョン」策定	*阪伊水道企業団からの方賦基本水量48,972  m <sup>*</sup> /日から46,092m <sup>*</sup> /日に減量	
		4	1		・「水道施設の災害時に伴う応援協定」の締 結(㈱ヴェオリアジェネッツ)		
					・「渇水時の節水対策に伴う応援協定」の締結(㈱ヴェオリアジェネッツ)		
		7	1		から(何か)・フエオ・ソナ・フエイ・ソファ	・阪神水道企業団の新尼崎浄水場Ⅱ期工事	
	<b>—</b> P					完成	│ ・山手幹線全線開通
	平成22年	10	1				・芦屋市制施行70周年記念式典
		11	1			·第1回指定給水装置工事業者研修会開催 (阪神7市1町給水装置協議会主催)	
		11	29		・厚生労働省(芦屋健康福祉事務所)立入検査(文書2, 口頭2, 助言3)		
ļ					11(入音2, 口頭2, 助音3)		
	平成23年	3	11	2011		·東日本大震災発災(M9)	
			13		・兵庫県阪神ブロックとして宮城県塩釜市へ 第1次派遣(4人)		
平成							
23年度		4	1		·東日本大震災 岩手県盛岡市第二次派遣 (4/1~4/7)以降継続		
		5	18		・東日本大震災 岩手県陸前高田市派遣終 ア		
					•	・阪神水道企業団からの分賦基本水量46,092 ㎡/日から42,492㎡/日に減量	
		6	11			III) EN STE, ISEMIN ET INVE	・第20代市長 山中 健 就任
Ī	平成24年			2012			
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				·第5期拡張事業認可届出		
		3	31		給水人口変更98,600人, 1日最大給水量 41.800㎡		
平成					・給水管分岐工事施工方法の改定(市施工		
24年度		4	1		から給水装置工事業者施工に改定)		
•	平成25年	2	16	2013	・第1回芦屋市水道事業経営審議会		
	十1次234	3	23		·第2回芦屋市水道事業経営審議会		
- 5		3				・厚生労働省「新水道ビジョン」を策定	
平成 25年度		4	1		・「要支援世帯の早期把握の協力に関する協		
20+12		·	•		定」の締結 ・水道メーター検針方法の改正(自動検針及		
		6	29		び集中検診を一般検針に改正) ・第3回芦屋市水道事業経営審議会		
		7 8	27 31		<ul><li>・第4回芦屋市水道事業経営審議会</li><li>・第5回芦屋市水道事業経営審議会</li></ul>		
		10			·第6回芦屋市水道事業経営審議会		
		.5			「芦屋市水道経営のあり方」(意見書)	·第2回指定給水装置工事業者研修会開催	
		10	31			(阪神7市1町給水装置協議会主催)	
				2014	・「神戸市及び芦屋市における水道事業の技		
	平成26年	1	27		術連携に関する協定書」の締結(神戸市水道 局)これにより緊急連絡管等の災害情報の共		
	, ///-0-7	•	_,		有・訓練・浄水技術の技術支援・研修による 連携等		
		2	12		·ダクタイル鋳鉄管(GX型 φ75~300)を材料		
			19		選定員会にて採用決定	・厚生労働省 「地域水道ビジョン」を廃止し	
平成		4	1		・「芦屋市水道ビジョン」改定	「水道事業ビジョン」を公表	
26年度		4	19 20		•芦屋市水道事業状況説明会開催		
		0	20		・災害応援協定による兵庫県支部阪神ブロックより丹波市応援給水派遣(~最終9月29日)		
				2015			
	平成27年						

	年号	月	日	西暦	芦屋市水道事業主要事項	その他水道関連事項	市史参考事項
平成 27年度		4	1		・GIS(水道施設地図情報システム)の導入		·第21代市長 山中 健 就任
2/牛皮		6	30		・自動検針廃止(一般検針に移行)		
		10	1		ムギのもなウナハナム ハンナゲーなご		•市庁舎東館完成
		11 12	24 1		・水道の執務室を分庁舎から東館に移転 ・水道お客様センター開設		
				0010			
	平成28年	1	19	2016		・阪神地域の水供給の最適化研究会第1回	
	. ,,,,,,,	1	28		・メーターユニット、バイパスユニットの新規採	会議を開催	
		3	2		用について材料選定員会にて決定	・「水道事業の広域連携の推進について」厚	
		3	12		<ul><li>・芦屋市水道事業状況説明会開催</li></ul>	生労働省より通知	
		3	12		・   ・   ・   ・		
	平成28年	3	23		神地区の水供給の最適化研究会」の協定書の締結		
		3	24 28		・奥山・奥池中央監視装置の更新	・阪神地域の水供給の最適化研究会第2回会	
<u> </u>			_0		- 六什个事業による第9中区和北沙科電ル事	議を開催	
平成		4			・交付金事業による第2中区配水池耐震化事業に着手		
28年度					送水・配水のバイパス管・減圧弁設置	·熊本地震発生	
		4	4			日本水道協会兵庫県支部派遣	
		4	25			・阪神地域の水供給の最適化研究会第3回会 議を開催	
		7	1			PPS C: 1/11 (性	・芦屋市屋外広告物条例の施行
		7	13		・「神戸市東灘区深江本町と芦屋市平田北町 の緊急連絡管設置及び運用に関する協定		
			-		書」の締結(神戸市水道局)		
		7	27		・「水質検査共同化に関する協定書」の締結 (水質の共同化5者間による)業務の範囲を		
					(水貝の共向化5名间による) 耒務の郵囲を定期・臨時の調査研究を追加。	ET 抽些量のよ供外の見法ル	
		10	7			・阪神地域の水供給の最適化研究会第4回会 議を開催	
		12 12	17		•芦屋市水道事業状況説明会開催		・本庁舎内装工事に伴う執務場所の変更完了
	T			2017			・・・・・ロロスーナトロフかのカッツを火ル!
	平成29年	1	23			・阪神地域の水供給の最適化研究会第5回会 議を開催	
		3	16		・芦屋市議会への補正予算案の追加		
平成		4	1			・宝塚市が阪神水道企業団に加入し供用を開始。	
29年度						************************************	
						万照基本小里42,492m/ ロから42,035m/ ロに減量	
		4	29		·第1回芦屋市水道事業経営審議会開催	・阪神水道企業団創立80周年記念情報交換	
		6 6	15 24		·第2回芦屋市水道事業経営審議会開催	会開催	
		7	21		・官民共同研究報告会(芦屋ビール完成)	・阪神地域の水供給の最適化研究会中間報 告の開催	
		8	26		•第3回芦屋市水道事業経営審議会開催	H S MILE	
				2018			
	平成30年						

### 2 市人口及び給水人口の推移

年度		市人口	給水人口	給水戸数	水道普及率
		(人)	(人)	(戸)	
	15	39, 137		4,635	
	16			5, 104	
	17			5,806	
	18			5, 597	
	19			5, 689	
	20	31, 098		5,696	
	21			·	
	22	37, 033			
	23				
	24				
	25	44, 617	35, 903	6, 724	80.47%
	26	46, 984	41, 423	7, 325	88. 16%
	27	49, 328	43, 281	7,855	87.74%
	28	50, 675	45, 182	8, 200	89. 16%
	29	54, 635	47, 265	8, 578	86. 51%
	30	52, 409	47, 663	8,666	90. 94%
	31	53, 436	50, 147	9, 118	93. 84%
	32	53, 367	50, 671	9,861	94. 95%
	33	53, 209	52, 068	10, 409	97.86%
	34	54, 499	50, 085	11,844	91. 90%
	35	57, 699	53, 265	13, 216	92. 32%
昭和	36	58, 919	54, 173	13, 509	91. 94%
	37	60, 399	55, 725	13, 931	92. 26%
	38	61, 607	56, 800	14, 200	92. 20%
	39	62, 490	59, 342	14, 836	94. 96%
	40	63, 337	61, 739	15, 435	97. 48%
	41	63, 856	63, 007	17, 188	98. 67%
	42	64, 329	63, 480	16, 941	98. 68%
	43	65, 307	64, 458	17, 974	98. 70%
	44	67, 834	66, 985	18, 841	98. 75%
	45	69, 733	68, 620	19, 775	98. 40%
	46	71, 779	70, 792	20, 465	98. 62%
	47	72, 177	71, 596	20, 954	99. 20%
	48	73, 414	72, 745	21, 428	99.09%
	49	73, 902	73, 289	21, 228	99. 17%
	50	74, 138	73, 464	26, 235	99. 09%
	51	73, 877	73, 184	25, 966	99.06%
	52	73, 362	72, 589	25, 967	98. 95%
	53	73, 849	73, 045	26,008	98. 91%
	54	78, 201	77, 305	27, 595	98. 85%
	55	80, 326	79, 347	28, 677	98. 78%
	56	80, 865	79, 798	28, 818	
	57	83, 092	81, 987	29, 417	98. 67%

年度		市人口	給水人口	給水戸数	水道普及率
	又	(人)	(人)	(戸)	<u> </u>
	58	84, 153	82, 985	29, 899	98. 61%
	59	85, 378	84, 169	30, 443	98. 58%
昭和	60	85, 700	85, 490	31, 175	99. 75%
中口小口	61	86, 501	86, 291	31, 460	99. 76%
	62	87, 114	86, 904	32, 017	99. 76%
	63	87354	87324	31362	99. 97%
	元	87, 267	87, 054	31, 896	99. 76%
	2	87, 240	87, 027	32, 482	99. 76%
	3	87, 406	86, 833	32, 751	99. 34%
	4	86, 853	86, 640	33, 255	99. 75%
	5	86, 341	86, 213	33, 388	99.85%
	6	81, 925	81, 803	32, 089	99.85%
	7	74, 091	73, 979	28,604	99.85%
	8	74, 423	74, 317	29, 129	99.86%
	9	75, 010	74, 896	29, 886	99.85%
	10	76, 786	76, 670	31, 162	99.85%
	11	78, 562	78, 453	32, 280	99.86%
	12	84, 392	84, 281	34, 415	99.87%
	13	86, 406	86, 302	35, 561	99.88%
平成	14	88, 372	88, 270	36, 720	99.88%
1 /3/	15	89, 610	89, 501	37, 472	99. 88%
	16	89, 961	89, 961	37, 897	100.00%
	17	90, 721	90, 721	37, 945	100.00%
	18	91, 567	91, 567	38, 717	100.00%
	19	92, 382	92, 382	39, 264	100.00%
	20	93, 096	93, 096	39, 806	100.00%
	21	93, 155	93, 155	39, 968	100.00%
	22	93, 245	93, 245	39, 555	100.00%
	23	93, 781	93, 781	40, 261	100.00%
	24	94, 105	94, 105	40, 257	100.00%
	25	94, 244	94, 244	40, 579	100.00%
	26	94, 335	94, 335	40, 797	100.00%
	27	94, 903	94, 903	41,772	100.00%
	28	94, 474	94, 474	41,770	100.00%

※市人口は住民基本台帳に基づき、平成24年度以降については外国人登録人口を含む。

※昭和15年~20年の給水戸数:予算書参照

※昭和15年~24年の人口: 芦屋市統計書参照

昭和15年 第5回国政調査

昭和20年 人口調査(11.1)

昭和22年 第6回国政調査

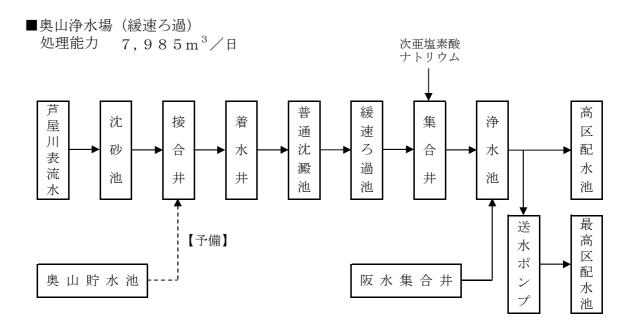
※空欄はデータ無

3 水道施設の概要 (1)主な施設の概要

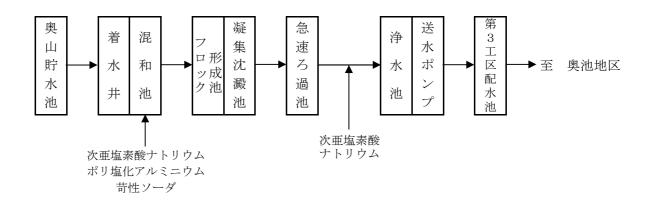
区分	1. 0.%	型成りが安 施設名称	概    要	備考					
貯水施設	奥山	貯水池	有効貯水量 346,000m <sup>3</sup> 堤 高 23.4m 堤 長 186m 構 造 アースダム, ロックフィルダム						
	奥 山 系	【芦屋川】 取水口 沈砂池	RC造 1.5m×1.5m×1口 RC造 有効容量 80.0m <sup>3</sup> 1.6m×12m×1.35~2.8m(2池)						
取水施設	奥池系	沈砂池 【本谷取水場】 取水井	取水口 φ 250×3口, φ 400×1口 RC造 5.0m×5.0m×2.6m(1池) RC造 6.0m×25.1m×3.4m(1池) RC造 8.0m×20.0m(1池)	奥山系と兼用					
導水施設	奥 山 系	導水路 (芦屋川取水口~奥山浄水場) 導水路 (奥山貯水池~芦屋川取水口)	RC造 6.0m×30.0m×3.0m(1池) φ500mm及び0.5m×0.5m×545m φ400mm×2,871m						
設	奥池系	導水管 (奥山貯水池~奥池浄水場)	CIP φ200mm×190m						
	<b>奥</b> 山 系	着水井	RC造 35m <sup>3</sup> 2.5m×7.0m×2.0m(1池) 滞留時間 5.9分						
浄 水 施		山	普通沈澱池	RC造 2,800m <sup>3</sup> 20m×23.4m×3.0m(2池) 滞留時間 7.9時間					
設			Щ	Щ	Щ	山	Щ	Щ	緩速ろ過池
		薬品注入設備	次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ 0.38L/分×2台						
			RC造 535m <sup>3</sup> 滞留時間 90分 9.45m×9.45m×3.0m(2池)						
		着水井	RC造 5.7m <sup>3</sup> 1.2m×1.9m×2.5m(1池) 滞留時間 4.8分						
		急速撹拌池	RC造 1.9m <sup>3</sup> 1.2m×1.9m×1.29m(1池) 滞留時間 1.6分 攪拌機 0.75kW×1台						
	奥池系	フロック形成池	RC造 22.5m <sup>3</sup> 2.5m×2.5m×1.8m(2槽) 滞留時間 37.9分 緩速攪拌機 0.4kW×4台						
		薬品沈澱池	RC造 31.9m <sup>3</sup> 2.5m×7.2m×1.77m(2池) 滞留時間 53.8分 傾斜板 2段×4列 間隔100mm,角度60°						
		急速ろ過池	鋼板製φ2.86m×5.0m×3基 ろ過面積 6.4㎡/基 ろ過速度 136m/日						

区分		施設名称	概    要	備考
浄 水 施	奥池系	浄水池 排水池	RC造 68.0m <sup>3</sup> 滞留時間 57.3分 2.35m×3.4m×4.0m(2池) RC造 138.0m <sup>3</sup> (1池)	
 設	系	薬品注入設備	次亜塩素酸ナトリウム注入設備 ポリ塩化アルミニウム注入設備 シーダ灰注入設備	
	奥 山 系	最高区送水ポンプ室 送水ポンプ ポンプ井	RC造 延床面積104㎡ 1棟 1.0m³/分×54m×18.5kW×2台 RC造 有効容量 54.0m³ 4.0m×5.75m×2.5m(1池)	
送水施設	六 麓 荘 系	朝日ヶ丘送水ポンプ場 送水ポンプ ポンプ井	RC造 床面積 18.5㎡ 1棟 0.79m³/分×126m×30kW×2台 RC造 有効容量 120.0m³	
<i>B</i> /5	奥池系	奥池浄水場送水ポンプ室 送水ポンプ ポンプ井 第2工区中継ポンプ場 送水ポンプ ポンプ井 第4工区中継ポンプ場 送水ポンプ ボンプ井	RC造 地下式 1棟 1. 3m³/分×71m×30kW×2台 浄水池兼用 RC造 床面積 27. 8m² 1棟 0. 41m³/分×79m×11kW×2台 RC造 有効容量 24. 0m³ 5. 4m×4. 4m×1. 0m(1池) RC造 床面積 9. 3m² 1棟 0. 14m³/分×57m×3. 7kW×2台 RC造 有効容量 12. 0m³ 2. 0m×3. 0m×2. 0m(1池)	
配 水	奥山系	最高区配水池 高区配水池 岩園調整池	PC造 有効容量 450m <sup>3</sup> φ 12.0×4.0m(1池) PC造 有効容量 2,500m <sup>3</sup> φ 22×6.7m(1池) RC造 有効容量 80m <sup>3</sup>	
施 設	六 麓 荘 系	六麓荘高区配水池 落合橋調整池	φ 5. 5m×3. 4m(1池) SUS造 有効容量 600m <sup>3</sup> 6. 0m×17. 0m×3. 0m(2池) RC造 有効容量 70m <sup>3</sup> φ 5. 5m×3. 0m(1池)	
	阪 水	第1中区配水池	RC造 有効容量 1,500m <sup>3</sup> 12.4m×12.4m×5.0m (1池) RC造 有効容量 1,000m <sup>3</sup> 10.0m×25.0m×4.0m (1池) 合計有効容量 2,500m <sup>3</sup>	
	水系	第2中区配水池	PC造 有効容量 2,500m <sup>3</sup> φ 20.0m×8.0m(1池) PC造 有効容量 7,000m <sup>3</sup>	
		低区配水池 第1工区配水池	φ38.0m×6.2m(1池) RC造 有効容量 130m <sup>3</sup>	
	奥	第2工区配水池	5.0m×5.0m×2.6m (2池) RC造 有効容量 400m <sup>3</sup> 7.0m×11.5m×2.5m (2池)	
	池 系	第3工区配水池	RC造 有効容量 584m <sup>3</sup> 7.3m×10.0m×4.0m(2池)	
		第4工区配水池	PC造 有効容量 185m³ φ9.4m×2.7m(1池)	

#### (2) 浄水処理施設の概要



■奥池浄水場(急速ろ過)処理能力 1,710 m³/日



### 表 3-1 奥池系 奥池浄水場施設諸元

### 奥池系 奥池浄水場

	所 在 地	芦屋市奥池町
	地 番	芦屋市奥池町
	敷地面積	$m^2$
	用途地域	
	完 工	創設時- 更新時-平成12年3月
	供用開始	創設時一 更新時一平成12年4月
	施工業者	創設時一 更新時一 (株) 熊谷組
	原水	奥山貯水池一湖水
	処理方式	薬品沈澱ー急速ろ過
	処理能力	1,710m <sup>3</sup> /日
	処理フロー	1,110/
	~47	<b>◆ソーダ灰</b>
		◆PAC
		◆次亜塩素
		【   奈
施		沈澱汚泥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
設概		_ <del>\</del>
要		排水池 ········◆下水道放流
	建築施設	事務室 (兼監視室) : RC造・ 1 階建・延床面積
		送水ポンプ室: RC造・地下1階・延床面積。
		薬品注入棟 : RC造・ 1 階建・延床面積40.6m <sup>2</sup>







表 3-2 奥池系 第 3 工区配水池施設諸元

### 奥池系 第3工区配水池

	ui.	# D the Menance
<u> </u>	所 在 地	芦屋市奥池町33
	地 番	芦屋市奥池南町1-1206・1220
	敷地面積	1,550m <sup>2</sup>
	用途地域	
	完 工	昭和47年12月(昭和60年4月簡易水道を統合)
	供用開始	
	施工業者	
	配水区	奥池配水区域-第3工区系
	配水域標高	+423.5~+514.0m
	給 水 量	$1,130$ m $^3$ /日
	送 水 量	580m³/日
	池構造形式	RC造・半地下式
	池 数	2 池
1.6-	池形状寸法	幅7.0m×長10.0m×水深4.0m
施設	池有効容量	584m <sup>3</sup>
概	HWL	+531.75m
要	LWL	+527.75m
	付属施設	
	機能概要	第2工区配水池から送水された上水を、一旦貯留し自
		然流下により奥池町、奥池南町への配水と第1、3
		及び4工区配水系統への送水を行う。
		及び4工区配水系統への送水を行う。







### 表 3-3 奥池系 第 2 工区配水池施設諸元

### 奥池系 第2工区配水池

	所 在 地	芦屋市奥池南町44
地番		芦屋市奥池南町1-1600
	敷地面積	669m <sup>2</sup>
	用途地域	
	完 工	昭和44年12月(昭和60年4月簡易水道を統合)
	供用開始	
	施工業者	
	配 水 区	奥池配水区域-第2工区系
	配水域標高	+532.0∼+552.0m
	給 水 量	330m³/∃
	送 水 量	250m³/日
	池構造形式	RC造・半地下式
	池 数	2 池
	池形状寸法	幅7.0m×長11.1m×水深2.5m
施設	池有効容量	$400$ m $^3$
概	HWL	+580.70m
要	LWL	+578.20m
	付属施設	
	機能概要	第2工区配水池から送水された上水を、一旦貯留し自
		然流下により奥池南町への配水と第1及び4工区配水
		系統への送水を行う。







表 3-4 奥池系 第1工区配水池施設諸元

### 奥池系 第1工区配水池

	所 在 地	芦屋市奥池町20
地 番		芦屋市奥池町1-1611
	敷地面積	$219\text{m}^2$
	用途地域	
	完 工	昭和39年 8月(昭和60年4月簡易水道を統合)
	供用開始	
	施工業者	
	配水区	奥池配水区域-第1工区系
	配水域標高	+452.2~+531.9m
	給 水 量	150m <sup>3</sup> /日
	送 水 量	
	池構造形式	RC造・半地下式
	池 数	2 池
	池形状寸法	幅5.0m×長5.0m×水深2.6m
施設	池有効容量	130m <sup>3</sup>
概	HWL	+547.70m
要	LWL	+545.10m
	付属施設	
	機能概要	第2工区配水池から送水された上水を、一旦貯留し自
		然流下により奥池町へ配水を行う。







表 3-5 奥山浄水場系 芦屋川取水口施設諸元

### 奥山浄水場系•芦屋川取水口

	所 在 地	芦屋市奥山
地番		芦屋市奥山
	敷地面積	$m^2$
	用途地域	
	完 工	昭和13年・平成7年
	供用開始	
	施工業者	
	現有施設	取水井・沈砂池
	〈取水口〉	
	構造形式	RC造・地上式
	口数	1 🗆
	口形状寸法	幅1.5m×高1.5m
	HWL	+204. 30
	池内防水	コンクリート打放
	付属設備	鋼製スクリーン・□-1500mm×1500mm
		取水口用電動ゲート・□-1500mm×1500mm
		余水吐用電動ゲート・□-1000mm×1000mm
		取水渠用手動ゲート・□-600mm×600mm
施		取水渠排泥用手動ゲート・□-300mm×300mm
設	〈沈砂池〉	
概	池構造形式	RC造・地下式
要	池 数	2 池
	池形状寸法	幅1.6m×長12.0m×水深1.35~2.8m
	池有効容量	$80\text{m}^3$
	HWL	+183.10m
	池内防水	コンクリート打放
	付属設備	鋼製スクリーン・□-1500mm×1000mm
		流入用手動ゲート・□-500mm×500mm
		流出用手動ゲート・□-500mm×500mm
	機能概要	芦屋川を堰止め、表流水を取水口から取水し、自然流
		下により沈砂池を経て、奥山浄水場に導水する。







表 3-6 奥山浄水場系 奥山浄水場施設緒元

### 奥山浄水場系 奥山浄水場

所 在 地 番 敷地面和 用途地填	芦屋市奥山 2,086m <sup>2</sup>
完 工 供用開始 施工業者	昭和13年3月(創設事業)
処理が処理が	7式     普通沈澱ー緩速ろ過       b力     8,535m³/日
施設概要	万度   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一
建築加	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·







### 表 3-7 奥山浄水場系 最高区配水池施設緒元

### 奥山浄水場系-最高区配水池

	所 在 地	芦屋市奥山
	地 番	芦屋市奥山1-1
	敷地面積	9,089m2
	用途地域	
	完 工	昭和40年 3月(第3期拡張事業)
	供用開始	
	施工業者	
	配 水 区	奥山配水区域-最高区系
	配水域標高	+96.5∼+183.5m
	給 水 量	970m³/目
	送 水 量	
	池構造形式	RC造・地上式
	池 数	1池
1.6-	池形状寸法	幅φ12.2m×水深4.0m
施設	池有効容量	$450 \text{m}^3$
概	HWL	+188.00m
要	LWL	+184.00m
	付属施設	
	機能概要	奥山浄水場内の揚水ポンプから送水された上水を、一
		旦貯留し自然流下により最高区給水区域に配水する。





表 3-8 奥山浄水場系 高区配水池施設緒元

### 奥山浄水場系•高区配水池

	所 在 地	芦屋市奥山 34
地 番		芦屋市奥山 1-235
	敷地面積	4,050m2
	用途地域	
	完 工	昭和44年 7月(第4期拡張事業)
	供用開始	
	施工業者	
	配 水 区	奥山配水区域一高区系
	配水域標高	+25.0∼+125.0m
	給 水 量	7,285m³/日
	送 水 量	1,280m³/日
	池構造形式	PC造・地上式
	池 数	1 池
	池形状寸法	幅φ22.0m×水深6.7m
施設	池有効容量	2, 500m <sup>3</sup>
概	HWL	+142.10m
要	LWL	+135.40m
	付属施設	
	機能概要	奥山浄水場内の揚水ポンプから送水された上水を、一
		旦貯留し自然流下により高区給水区域に配水する。
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·





### 表 3-9 六麓荘系 朝日ヶ丘ポンプ場施設諸元

### 六麓荘配水系・朝日ヶ丘ポンプ場

	所 在 地	<u>芦屋市剣谷 13</u>
地 番		芦屋市剣谷 22
	敷地面積	1,307m2
	用途地域	
	完 工	昭和45年 5月
	供用開始	
	施工業者	
	送 水 先	六麓荘配水池
	送水先標高	+201.4m
	送 水 量	$265 exttt{m}^3$ /日
	池構造形式	RC造・地下式
	池 数	1 池
	池形状寸法	幅φ m×水深4.0m
l	池有効容量	$120 exttt{m}^3$
施設	HWL	+112.00m
概	LWL	+108.00m
要	P室床面積	$27.8m^2$
	P室構造形式	地上1Fポンプ室
	機能概要	奥山系高区配水池からの送水を一旦ポンプ井で受水し、
		揚水ポンプによって六麓荘配水池まで送水を行う。





表 3-10 六麓荘配水系 六麓荘高工区配池施設諸元

### 六麓荘配水系•六麓荘高区配水池

	所 在 地	芦屋市六麓荘町25
地 番		芦屋市六麓荘町5,5-1
敷地面積		21, 238m2
	用途地域	
	完 工	平成16年 2月(第7期拡張事業)
	供用開始	
	施工業者	
	配水区	
	配水域標高	
	給 水 量	
	送 水 量	
	池構造形式	SUS製・地上式
	池 数	2 池
4-/	池形状寸法	幅6.0m×長17.0m×水深3.0m
施設	池有効容量	600m <sup>3</sup>
概	HWL	+228.00m
要	LWL	+225.00m
	付属施設	
	機能概要	



### 表 3-11 阪神水道受水系 第1中区配水池施設諸元

### 阪神水道受水系·第1中区配水池

	所在地	芦屋市山手町8
地番		芦屋市山手町134
	敷地面積	1,686m2
	用途地域	,
	完 工	昭和13年3月(①)・昭和45年3月(②)
	供用開始	
	施工業者	
	配水区	阪神水道配水区域-中区配水系
	配水域標高	+9.0∼+52.0m
	給 水 量	7,220m <sup>3</sup> /日
	送 水 量	
	池構造形式	RC造・地下式
	池 数	2 池 (①) · 1 池 (②)
	池形状寸法	①幅12.4m×長12.4m×水深5.0m-2池
施設		②幅11.0m×長25.0m×水深4.0m-1池
概	池有効容量	(1)1, $500$ m <sup>3</sup>
要		21,000m <sup>3</sup>
	HWL	①+79.00m ②+79.00
	LWL	①+74.00m ②+75.00
	付属施設	
	機能概要	阪神水道企業団(芦屋川・奥山)から受水した上水を、
		一旦貯留し自然流下により中区給水区域に配水する。





表 3-12 阪神水道受水系 第 2 中区配水池施設諸元

### 阪神水道受水系-第2中区配水池

	所 在 地	芦屋市岩園町37
	地 番	芦屋市岩園町80-1
	敷地面積	$901\text{m}^2$
	用途地域	
	完 工	昭和47年 3月(第4期拡張事業)
	供用開始	THE TOTAL CONTROL OF THE
	施工業者	
	配水区	阪神水道配水区域-中区配水系
	配水域標高	+9.0∼+52.0m
	給 水 量	8,000m <sup>3</sup> /日
	送 水 量	
	池構造形式	PC造・地上式
	池 数	1池
	池形状寸法	幅φ20.0m×水深8.0m
施設	池有効容量	2,500m <sup>3</sup>
概	HWL	+77.00m
要	LWL	+69.00m
	付属施設	
	機能概要	阪神水道企業団(奥山)から受水した上水を、一旦貯
		留し自然流下により中区給水区域に配水する。
		<u> </u>





表 3-13 阪神水道受水系 低区配水池施設緒元

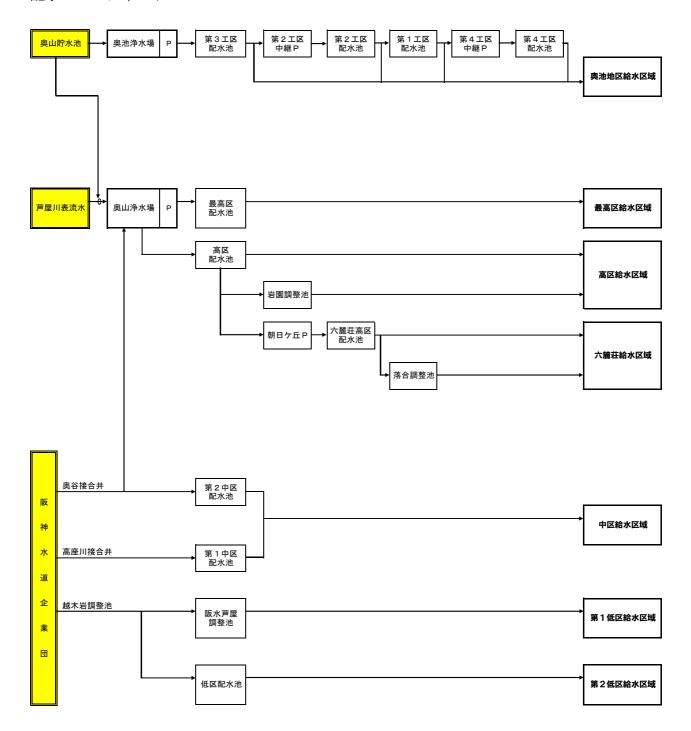
### 阪神水道受水系•低区配水池

_		
	所 在 地	芦屋市岩園町29
	地 番	芦屋市岩園町216-5·218-8,9,10
	敷地面積	2,462m <sup>2</sup>
	用途地域	
	完 工	昭和52年 3月(第5期拡張事業)
	供用開始	
	施工業者	
	配水区	阪神水道配水区域-第2低区配水系
	配水域標高	+0.6~+4.9m
	給 水 量	12,760m³/日
	送 水 量	
	池構造形式	PC造・地上式
	池 数	1池
	池形状寸法	幅φ38.0m×水深6.2m
施	池有効容量	7,000m <sup>3</sup>
設概	HWL	+53.65m
要	LWL	+47. 45m
	付属施設	
	機能概要	阪神水道企業団(岩園)から受水した上水を、一旦貯
		留し自然流下により第2低区給水区域に配水する。

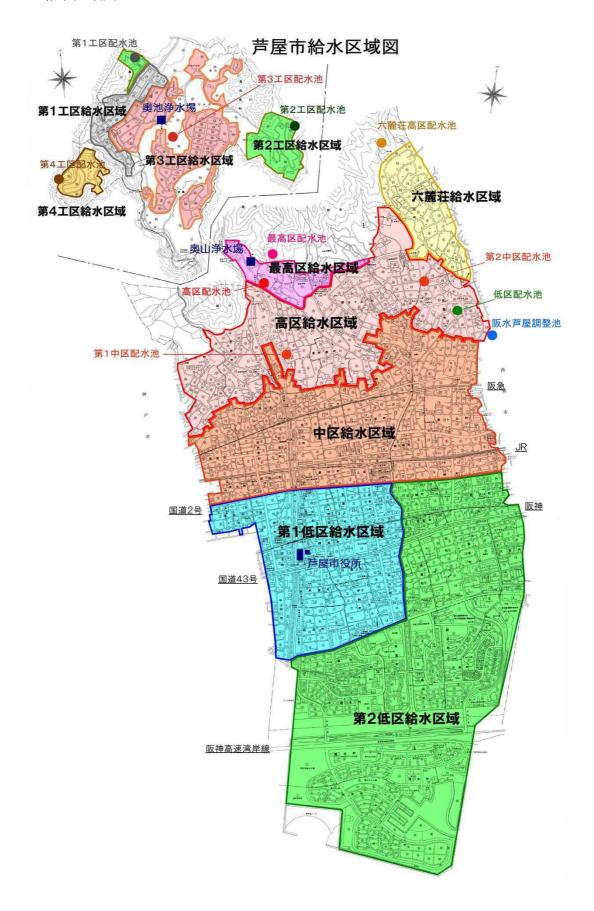




### 4 配水フローチャート



#### 5 給水区域図



## 6 阪神水道企業団の概要

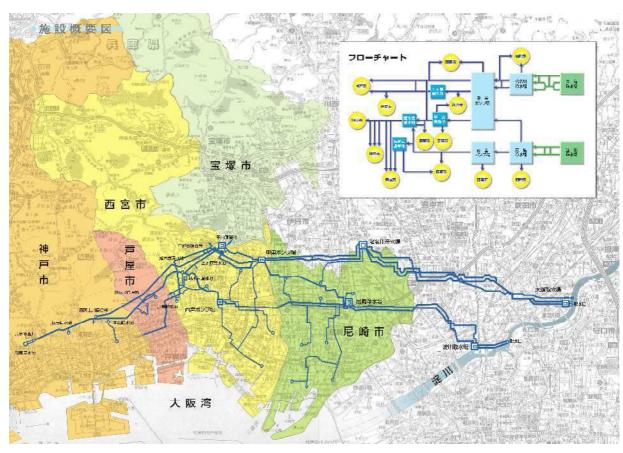
阪神地域は、水道水源となる大きな河川がなく慢性的な水不足に悩まされていました。 そこで、安定した給水を確保するため、昭和11年7月に「阪神水道企業団」が設立され、 遠く琵琶湖・淀川水系を水源とする水道用水供給事業にとりかかり、昭和17年に給水を 開始しました。

以来,発展を続ける構成市の水需要に対処するため,5期にわたる拡張工事を実施し,現在は1日最大112万8千㎡の供給能力を有し,その全量がオゾンと活性炭処理を取り入れた高度浄水処理水となっています。

## (1) 阪神水道企業団の構成市 神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・宝塚市(平成29年4月新規加入)

#### (2) 施設の概要

淀川で取水した水(原水)を浄水場で浄水処理した後,ポンプ場を経由して,芦屋市などの構成市へ水道用水を供給しています。



(出典:阪神水道企業団 事業概要2017年度版)

## (3) 高度浄水処理水

工程	着水井	凝集沈殿池	オゾン処理	活性炭処理	ろ過池	浄水池
処理 内容	淀川から取水された原水が最初に到着するところ。 ここから浄水処理が始まります。	薬品を入れて水 中に混じってや る細かなかや濁 りを小さなが固ま りにして沈めま す。	オゾンにより水中のかび臭や有機物を分解します。	粒状活性炭層に 水を通して,かび 臭や有機物質な どを取り除きま す。	浄水処理の最終 仕上げとして、水 中に残っている 細かな粒子等を 除去し、きれいな 水にします。	浄水処理された 水道水を一旦こ こで貯留し,各市 へ送り出します。
高度浄水			オゾンの強力な酸化ス 臭や有機物をほぼ除っ			

第3編 水道業務課の業務

## 第3編 水道業務課の業務

#### 1 水道お客様センターの概要

生活に直結した水道水と市民の皆様との窓口として,平成27年12月1日に水道 お客様センターを開設しました。水道お客様センターは民間会社であるヴェオリア・ ジェネッツ㈱に包括委託し、引越しに伴う使用開始申込み、使用中止の届出、検針、 料金、修繕等に関するお問い合わせを一括して受け付けています。

お客様センターの設置により、水道事業の窓口を一元化し、お客様にとってわかりや すい窓口サービスを提供しています。

#### 【平成28年度委託内容】

- (1) 窓口業務 (インターネット・FAX・電話等受付を含む。)
- (2) 閉栓清算業務
- (3) 工事用臨時水栓開・閉栓業務(2週間以内の解体のみ)
- (4) 滞納徴収業務(給水停止業務を含む。)
- (5) 収納業務
- (6) 水道メーター計量業務
- (7) 奥池地区開·閉栓業務
- (8) その他関連業務

#### 【お客様センター開設までの経過】

契約期間	業務内容	人 員
平成 14 年 4 月 15 日~	①収納業務	社員1名,嘱託1名
平成 15 年 3 月 31 日	②閉栓精算業務	
	③滞納徴収業務	
	④その他関連業務	
平成 15 年 4 月 1 日~	①収納業務	社員1名,嘱託1名
平成 16 年 3 月 31 日	②閉栓精算業務	
	③滞納徴収業務	
	④その他関連業務	
平成 16 年 4 月 1 日~	①収納業務	社員3名,嘱託2名
平成 17 年 3 月 31 日	②閉栓精算業務	
	③滞納徴収業務	
	④窓口業務	
	⑤奥池検針業務	
	⑥その他関連業務	

平成 17 年 4 月 1 日~ ①収納業務 社員 4 名,嘱託 2 名	
平成18年3月31日 ②閉栓精算業務	
③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業務	
平成 18年 4月 1日~ ①収納業務 社員 5名,嘱託 3名	
平成 19 年 3 月 31 日 ②閉栓精算業務	
③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業	
平成19年4月1日~ ①収納業務 社員6名,嘱託2名	
平成 22 年 3 月 31 日 ②閉栓精算業務	
③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業務	
※平成 20 年 4 月 1 日 水道施設の災害に伴う応援協定	
渇水時の節水対策に伴う応援協定の締結	
平成22年4月1日~ ①収納業務 社員6名,嘱託2名	
平成23年3月31日 ②閉栓精算業務	
《長期継続委託契約》 ③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業務	
平成23年4月1日~ ①収納業務 社員6名,嘱託2名	
平成24年3月31日 ②閉栓精算業務	
③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業務	
平成24年4月1日~ ①収納業務 社員6名,嘱託2名	
平成 24 年 9 月 30 日 ②閉栓精算業務	
③滞納徴収業務	
④窓口業務	
⑤奥池検針業務	
⑥その他関連業務	

平成 24 年 10 月 1 日~	①収納業務	社員6名,嘱託2名
平成 27 年 9 月 30 日	②閉栓精算業務	
《プロポーザル》	③滞納徴収業務	
	④窓口業務	
	(H24.12∼	
	インターネットによる受付開始)	
	⑤奥池検針業務	
	⑥その他関連業務	
※平成24年10月1日	要支援世帯の早期把握に伴う協定	の締結
平成27年4月1日~	計量業務を委託開始≪追加≫	社員3名,検針員9名
平成 28 年 3 月 31 日		
平成 27 年 10 月 1 日~	①収納業務	社員9名,嘱託2名
平成 28 年 3 月 31 日	②閉栓精算業務	検針員9名
	③滞納徴収業務	
	④窓口業務	
	⑤奥池検針業務	
	⑥水道メーター計量業務	
	⑦その他関連業務	
平成28年4月1日~平	①収納業務	社員9名,嘱託2名 検針員
成 28 年 9 月 30 日	②閉栓精算業務	9名
	③滞納徴収業務	
	④窓口業務	
	⑤奥池検針業務	
	⑥水道メーター計量業務	
	⑦工事用臨時水栓開・閉栓業務	
	(2週間以内の解体のみ)	
	⑧その他関連業務	
平成 28 年 10 月 1 日~	①収納業務	社員9名,嘱託2名 検針員
平成 31 年 9 月 30 日	②閉栓精算業務	9名
≪プロポーザル≫	③滞納徴収業務	
	④窓口業務	
	⑤奥池検針業務	
	⑥水道メーター計量業務	
	⑦工事用臨時水栓開・閉栓業務	
	(2週間以内の解体のみ)	
	⑧その他関連業務	

## 2 使用水量と水道料金

年度			口径 13	nm		口径 20	Omm		口径 25m	m		口径 40	ım
一尺		戸 数	使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金
		戸	m	円	戸	т	円	戸	m	円	戸	m	円
平成26	年度	32,140	750,627	120,920,202	185,005	6,558,453	1,021,741,262	42,493	1,713,211	324,750,837	3,004	354,497	102,468,600
平成27	年度	31,537	717,122	117,056,332	186,657	6,510,600	1,020,332,261	43,756	1,735,972	328,711,435	3,070	371,495	109,352,547
平成28	年度	30,879	703,989	114,430,787	186,712	6,500,755	1,020,226,022	44,297	1,761,118	333,912,286	3,076	371,391	109,665,836
H28年	4月	2,943	63,863	10,060,592	15,155	525,586	80,674,239	3,058	113,536	21,577,097	246	27,121	7,738,188
	5月	2,255	48,363	8,137,773	15,847	518,400	82,456,936	4,296	168,112	31,899,777	269	30,220	9,127,247
	6月	2,940	70,088	11,074,907	15,152	567,936	87,858,974	3,069	121,826	23,041,705	245	29,765	8,498,978
	7月	2,225	48,729	8,329,617	15,888	520,665	83,150,051	4,295	169,255	31,985,201	268	31,037	9,393,334
	8月	2,930	67,737	10,720,693	15,206	542,248	83,349,309	3,082	118,098	22,201,803	244	28,618	8,195,466
	9月	2,225	49,902	8,501,781	15,847	528,003	84,517,043	4,313	172,859	32,698,912	267	34,776	10,468,924
	10月	2,915	71,468	11,275,122	15,265	570,743	88,050,818	3,119	131,689	25,301,755	247	31,899	9,281,753
	11月	2,217	50,208	8,391,733	15,870	535,602	86,019,375	4,296	179,258	34,812,687	267	34,818	10,488,114
	12月	2,899	67,191	10,652,267	15,215	552,577	85,151,171	3,072	120,415	22,571,531	243	30,884	9,049,482
H29年	1月	2,171	46,837	7,822,751	15,922	513,978	81,750,262	4,292	170,073	32,231,155	267	30,437	9,104,548
	2月	2,931	71,260	11,311,950	15,271	582,334	90,307,831	3,068	123,459	23,140,288	245	32,141	9,427,588
	3月	2,228	48,343	8,151,601	16,074	542,683	86,940,013	4,337	172,538	32,450,375	268	29,675	8,892,214

年度			口径 50	mm		口径 75	5mm		口径 100m	ım		口径 150	mm		合計	
+13	•	戸 数	使用水量	水道料金		使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金	戸 数	使用水量	水道料金
		戸	'n	Ħ	戸	mî	円	戸	mî	円	戸	m	円	戸	m	円
平成26	年度	1,221	353,607	112,864,870	405	362,556	118,264,882	48	47,571	15,678,941	6	14,280	5,237,790	264,322	10,154,802	1,821,927,384
平成27	年度	1,260	363,753	116,503,370	401	370,737	121,485,272	48	43,375	14,416,380	6	13,183	4,925,772	266,735	10,126,237	1,832,783,369
平成28	年度	1,290	359,306	115,118,307	411	372,314	122,058,105	48	46,607	15,463,548	6	13,485	5,023,620	266,719	10,128,965	1,835,898,511
H28年	4月	105	22,190	7,135,217	26	29,868	9,784,638	3	1,866	634,824	1	1,826	700,704	21,537	785,856	138,305,499
	5月	109	29,916	9,563,046	42	27,830	9,136,356	5	4,216	1,396,224	0	0	0	22,823	827,057	151,717,359
	6月	102	22,767	7,316,796	24	22,058	7,243,668	3	2,377	800,388	1	1,965	745,740	21,536	838,782	146,581,156
	7月	112	35,253	11,297,569	45	33,884	11,118,016	5	5,718	1,882,872	0	0	0	22,838	844,541	157,156,660
	8月	102	25,271	8,086,255	24	31,526	10,315,512	3	2,624	880,416	1	2,117	794,988	21,592	818,239	144,544,442
	9月	113	40,381	12,920,032	46	46,158	15,106,574	5	5,910	1,945,080	0	0	0	22,816	877,989	166,158,346
	10月	104	28,039	8,971,425	24	30,675	10,039,788	3	2,557	858,708	1	3,660	1,294,920	21,678	870,730	155,074,289
	11月	111	41,222	13,196,094	44	34,159	11,201,640	5	5,799	1,909,116	0	0	0	22,810	881,066	166,018,759
	12月	103	23,735	7,617,309	24	25,172	8,256,816	3	2,254	760,536	1	2,258	840,672	21,560	824,486	144,899,784
H29年	1月	112	36,488	11,666,831	44	33,871	11,112,432	5	5,285	1,742,580	0	0	0	22,813	836,969	155,430,559
	2月	104	22,469	7,222,050	24	25,254	8,283,384	3	2,603	873,612	1	1,659	646,596	21,647	861,179	151,213,299
	3月	113	31,575	10,125,683	44	31,859	10,459,281	5	5,398	1,779,192	0	0	0	23,069	862,071	158,798,359

※水道料金は消費税込の金額です。

※各月末時点での統計です。

## 3 分担金収納と開閉栓受付状況

分担金収納

		平成2	8年度	平成2	7年度
X	分	既得件数	金額	既得件数	金額
	13mm	件 2	円 138, 240	件 3	円 207, 360
	20mm	95	17, 955, 000	92	17, 388, 000
口	25mm	13	4, 169, 880	16	5, 132, 160
径	40mm	1	991, 440	1	991, 440
別	50mm	0	0	1	1, 706, 400
分	75mm	0	0	0	0
担	100mm	1	9, 406, 800	0	0
金	150mm	0	0	0	0
	改造	247	41, 607, 000	209	40, 547, 520
小	計	359	74, 268, 360	322	65, 972, 880
	<b></b>	20	4, 935, 600	71	16, 930, 080
会 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	計	379	79, 203, 960	393	82, 902, 960

注1)消費税込み

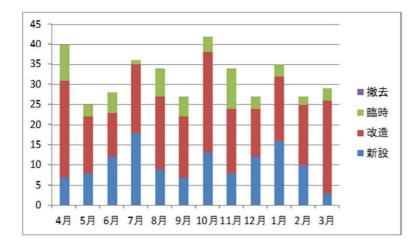
開閉栓受付状況 (単位:件)

年 度	開栓	閉    栓				
平成24年度	4, 515	4, 303				
平成25年度	4, 478	4, 354				
平成26年度	4, 165	4, 050				
平成27年度	4, 244	3, 844				
平成28年度	8, 939	4, 410				
H28 4月	507	459				
5月	390	416				
6月	393	346				
7月	357	338				
8月	342	375				
9月	339	313				
10月	334	416				
11月	325	287				
12月	300	309				
H29 1月	329	290				
2月	355	344				
3月	558	517				

## 4 給水装置工事申請受付状況

平成 24 年度申請件数一覧

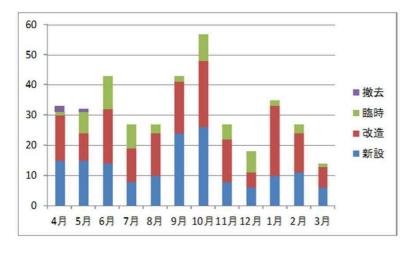
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新設	7	8	12	18	9	7	13	8	12	16	10	3	123
改造	24	14	11	17	18	15	25	16	12	16	15	23	206
臨時	9	3	5	1	7	5	4	10	3	3	2	3	55
撤去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C
小計	40	25	28	36	34	27	42	34	27	35	27	29	



平成24年度申請件数一覧								
新設	123	件						
改造	206	件						
臨時	55	件						
撤去	0	件						
合計	384	件						

平成 25 年度申請件数一覧

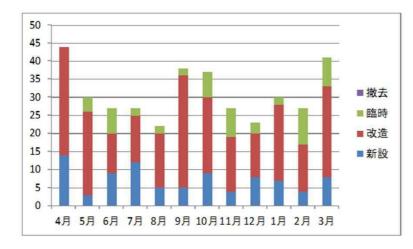
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新設	15	15	14	8	10	24	26	8	6	10	11	6	153
改造	15	9	18	11	14	17	22	14	5	23	13	7	168
臨時	1	7	11	8	3	2	9	5	7	2	3	1	59
撤去	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
小計	33	32	43	27	27	43	57	27	18	35	27	14	



平成25年度	申請件	数一覧
新設	153	件
改造	168	件
臨時	59	件
撤去	3	件
合計	383	件

平成 26 年度申請件数一覧

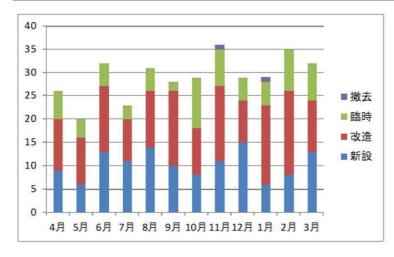
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新設	14	3	9	12	5	5	9	4	8	7	4	8	88
改造	30	23	11	13	15	31	21	15	12	21	13	25	230
臨時	0	4	7	2	2	2	7	8	3	2	10	8	55
撤去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	44	30	27	27	22	38	37	27	23	30	27	41	



平成26年度	平成26年度申請件数一覧										
新設	88	件									
改造	230	件									
臨時	55	件									
撤去	0	件									
合計	373	件									

平成 27 年度申請件数一覧

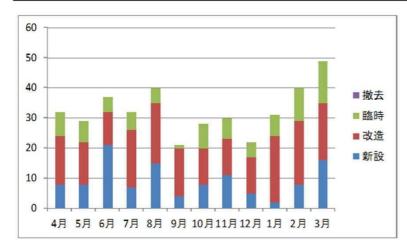
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新設	9	6	13	11	14	10	8	11	15	6	8	13	124
改造	11	10	14	9	12	16	10	16	9	17	18	11	153
臨時	6	4	5	3	5	2	11	8	5	5	9	8	71
撤去	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
小計	26	20	32	23	31	28	29	36	29	29	35	32	



平成27年度日	申請件	数一覧
新設	124	件
改造	153	件
臨時	71	件
撤去	2	件
合計	350	件

平成 28 年度申請件数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
新設	8	8	21	7	15	4	8	11	5	2	8	16	113
改造	16	14	11	19	20	16	12	12	12	22	21	19	194
臨時	8	7	5	6	5	1	8	7	5	7	11	14	84
撤去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	32	29	37	32	40	21	28	30	22	31	40	49	



平成28年度	申請件	数一覧
新設	113	件
改造	194	件
臨時	84	件
撤去	0	件
合計	391	件

## 5 水道メーター取替状況

TE	i目		小口径				大口	口径				戸数	扱い	
垻	l H	13mm	20mm	25mm	40mm(平型)	40mm(電子)	50mm(電子)	75mm(電子)	100mm(電子)	150mm(電子)	13mm	20mm	25mm	40mm
平成2	26年度	798	1,074	465	49	9	10	9	3	0	4	563	25	1
平成2	27年度	961	1,272	29	59	13	37	16	2	0		245	169	
	4月	145	192	17	11	7								
	5月	71	163	45	20	2						80	33	
	6月	75	216	36	15	5	2	3				192	55	
	7月	84	177	17	14		8	1			2	68	50	
	8月	186	168	39	9	2	9	1				26	77	
H28	9月	107	206	12	12	5	1	1						
П20	10月	229	115	241	16	4	0					12	1	
	11月	89	203	19	11	1	12					4		
	12月	129	199	13	3	3	6							
	1月	59	171	12	9	1	6	1				1		
	2月	90	315	10			3							
	3月	76	112	10					_					
平成28:	年度 計	1,340	2237	471	120	30	47	7	0	0	2	383	216	0

<b>T</b> B	i目	集	合住宅(直	読)	集	合住宅(電	子)	芦	<sup>5</sup> 屋浜高層	住宅(直訪	ŧ)		芦屋浜	高層住宅	(電子)		合計
垻	. H	13mm	20mm	25mm	13mm(電子)	20mm(電子)	25mm(電子)	13mm	20mm	25mm	40mm	13mm(電子)	20mm(電子)	25mm(電子)	40mm(電子)	50mm(電子)	一副
平成2	.6年度	9	1,409	634							19		2,450	16		4	7,551
平成2	:7年度	32	1,753	395					988	209			7	1			6,188
	4月	1	259	23													655
	5月		92	152													658
	6月		271	4													874
	7月		250	28													699
	8月	6	163	1													687
H28	9月	5	130	102	6	144	45										776
1120	10月	1	167	56													842
	11月		345	17													701
	12月	6	215	24													598
	1月	12	260	31	1	41	7										612
	2月	21	223														662
	3月	1	123	85		_										_	407
平成28:	年度 計	53	2,498	523	7	185	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,171

平成28年度 集計

	直読式水	道メーター					電子式水	道メーター				合計
13mm	20mm	25mm	40mm	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	口前
1,395	5,118	1,210	120	7	185	52	30	47	7	0	0	8,171

<sup>※</sup> 戸数扱いとは、個別検針・個別徴収を行っていない集合住宅の量水器

## 6 水道料金体系の変遷

水道料金の変遷

昭和13年3月31日創設時

1ヵ月の料金表

	1717107千亚4		-1. 1 A			,
租		基本	料金	超過	料金	予納金
第1種	一般家事用	10綾	80銭	1綾	10銭	2. 40円
第2種	官公署・学校・社 寺・病院・工場・ 営業用	20綾	1.50銭	1綾	10銭	4.50円
第3種	湯屋営業者及び製 氷業者	100綾	5.00銭	1綾	6銭	15.00円
第4種	原動力・土木建築 工事撒水・自動車 洗滌・一時用	20綾	3.00銭	1綾	20銭	9.00円
第5種	噴水・滝・園・ 池・遊泳場・娯楽 用	5綾	3.00銭	1綾	80銭	9.00円
共用栓	共用家事用	5綾	30銭	1綾	7銭、	0.90円
私設消火栓	演習用	1回1口	2.00銭			

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 Omm	80銭
5 O m m	1円50銭
7 5 mm	
100mm	

昭和19年4月1日改正時

1ヵ月の料金表

租	別	基本	拟全	起過	料金	又始入
第1種	一般家事用	10絵	1.00円	1綾	10銭	予納金 4.00円
第2種	官公署・学校・社 寺・病院・工場・ 営業用	20綾	1円80銭	1綾	10銭	7円20銭
第3種	湯屋営業者及び製 氷業者	100綾	6.00円	1綾	6銭	24.00円
第4種	原動力・土木建築 工事撒水・自動車 洗滌・一時用	20綾	4.00円	1綾	20銭	16.00円
第5種	噴水・滝・園・ 池・遊泳場・娯楽 用	5綾	4.00円	1終	80銭	16.00円
共用栓	共用家事用	5綾	35銭	1綾	7銭	1円40銭
私設消火栓	演習用	1回1口:	2円50銭			

### メーター使用料

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
5 O mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

毎月検針の変更 1.か月~3か月に変更 2か月毎の請求から3か月毎の徴収に変更

昭和21年4月1日改正時

	1ヵ月の料金表					
租		基本料	1金	超過	料金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	3.00円	1綾	30銭	12円
第2種	営業用(官公署・ 学校・社寺・病 院・工場)		専用家	家事用に紛	合	
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	250綾	40円	1綾	20銭	16円
第4種	土木建築,撒水· 自動車洗滌	10綾	8円	1綾	60銭	32円
第5種	臨時,娯楽用(噴水、滝、園、池、 遊泳)	5檢	15円	1綾	3円	60円
共用栓		<b>Б綾(1戸)</b>	1.20銭	1綾	60銭	4円80銭
私設消火栓	演習用		10	1 口10円		

口径	使用料
13mm	20銭
16mm	25銭
20mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
50mm	1円50銭
7 5 mm	4円
1 O O mm	

昭和22年4月1日改正時

		10111 C C + 1	+ /7   口以	TE b4		
	1ヵ月の料金表				•	
種		基本料	金	超過	科金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	10円	1綾	1円	40円
第2種		専用家事用に統合				
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	250綾	120円	1綾	80銭	480円
第4種	土木建築, 撒水 · 自動車洗滌	10綾	20円	1綾	1円50銭	80円
第5種	臨時,娯楽用(噴水,滝,園,池, 遊泳)	5綾	30円	1綾	6円	120円
共用栓	共用家事用	5綾	1.20銭	1綾	60銭	20円
私設消火栓	演習用		1 垣	11口10円	]	

口径	使用料
13mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
50mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

昭和22年7月1日改正時

1ヵ月の料金表

	「カ月の科並衣					
		基本米	金	超過	料金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	20円	1綾	2円	80円
  第2種 		専用家事用に統合				
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	250絵	240円	1綾	1円50銭	960円
第4種	土木建築, 撒水・  自動車洗滌	10綾	40円	1綾	3円	160円
第5種	臨時,娯楽用(噴水,滝,園,池, 遊泳)	5絵	60円	1綾	10円	240円
共用栓	共用家事用	5綾	10円	1綾	1円20銭	40円
私設消火栓	演習用		1 👨	] 1 口10円		

口径	使用料
13mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
2 5 mm	40銭
3 O mm	50銭
4 Omm	80銭
50mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

昭和23年7月1日改正時

昭和23年7月1日改正時						
	<u>1ヵ月の料金表</u>					
<b></b>		基本料	·金	超過	料金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	40円	1綾	5円	80円
第2種		専用家事用に統合				
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	200綾	700円	1綾	4F9	960円
第4種	土木建築、撒水・  自動車洗滌	10綾	80円	1綾	8円	160円
第5種	臨時,娯楽用(噴水、滝、園、池、 遊泳)	5綾	150円	1綾	20円	240円
第6種	共用栓	5綾	20円	1綾	3⊞	40円
私設消火栓	演習用		1回	1口10円		

口径	使用料
13mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
40mm	80銭
5 O mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

昭和23年8月15日改正時

1ヵ月の料金表

	「カ月の科玉衣					
<u> </u>	重 別	基本米	金	超過	料金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	50円	1綾	6円	200円
第2種			専用	家事用に紛	t合	
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	200綾	800円	1綾	5円	3, 200円
第4種	土木建築, 撒水 · 自動車洗滌	10絵	100円	1綾	10円	400円
第5種	臨時,娯楽用(噴 水,滝,園,池, 遊泳)	5綾	200円	1綾	20円	800円
第6種	共用栓	5綾	25円	1絵	5円	100H
私設消火栓	演習用		1@	1 口10円		

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
5 O mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

昭和24年6月1日改正時

昭和24年6月1日改正時						
	<u>1ヵ月</u> の料金表					
		基本料	1金	超過	料金	予納金
第1種	専用家事用(一般 家事用)	10綾	70円	1緞	7円50銭	280円
第2種		専用家事用に統合				
第3種	公衆浴場用(湯屋 営業者及び製氷業 者)	200絵	800円	1綾	5円	3, 200円
第4種	土木建築,撒水· 自動車洗滌	10絵	120円	1綾	11円	480円
第5種	臨時,娯楽用(噴水,滝,園,池。 遊泳)	5綾	250円	1綾	30円	1,000円
第6種	共用栓	5綾	25円	1綾	6円	100円
私設消火栓	演習用		1 🗖	] 1 口10円		

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
50mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

#### 昭和27年2月1日改正時

1ヵ月の料金表 別 基本料金 超過料金 予納金 般家事用 第1種 10綾 95円 1綾 10円 380円 285円 第2種 専用家事用に統合 湯屋営業者及製氷 第3種 業者 200絵 1,000円 1綾 6円 4,000円 3,000円 原動力·土木地埋 工事・掲水・及自 第4種 150円 10綾 1綾 15円 600円 450円 動車洗浄その他一 時用 噴水・港・池・遊 泳場・その他娯楽 第5種 5綾 300円 1綾 40円 1,200円 900円 用 第6種 共用事 私設消火栓 演習用 共用事業用 5綾 40円 1綾 1回1口200円 (S28. 8円 160円 120円

1改正)

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O mm	80銭
50mm	1円50銭
75mm	4円
1 O O mm	

昭和32年4月1日改正時

	1ヵ月の料金表	<b>地口和32</b> 42	+ 73 1 1 1 1 1 1 1	证时		
種別		基本料	基本料金		超過料金	
第1種	一般家事用	10綾	110円	1綾	13円	予納金 330円
第2種	官公署・学校・社 寺・病院・工場	10絵	110円	1綾	13円	330円
第3種	湯屋営業者及製氷 業者	200綾	1, 100円	1綾	7円	3, 300円
第4種	原動力・土木地埋 工事・掲水・及自 動車洗浄その他一 時用	10綾	170円	1綾	17円	510円
第5種	噴水・港・池・遊 泳場・その他娯楽 用	5綾	350円	1絵	50円	1,050円
	共用事業用	5綾	45円	1綾	9円	135円
私設消火栓	演習用		1回	1口200円	3	

口径	使用料
1 3 mm	20銭
16mm	25銭
2 O mm	30銭
25 mm	40銭
3 O mm	50銭
4 O m m	80銭
50mm	1円50銭
75mm	4円
100mm	

昭和44年4月1日改正時

2ヵ月の料金表

	2 77 77 V7 4T 业 4X					
	種 別	基本料	4金	従量	料金	
,		基本水量	金額	第1段料金	第2段料金	
第1種	専用家事用	10 m³	165円	10∼30 m³	30 m² ~	
37 . 132	7/12/7/13	10111	1001 1	32円	35円	
第2種	共用家事用	5 m³	70円	5 <b>~1</b> 5 m <sup>3</sup>	15 m³ ~	
	7 4712731 7 7 7 7			16円	32円	
第3種	業務用	10m	165円	10~40m³	40 m³ ~	
			144,7	35円	44円	
第4種	営業用	10 m³	165円	10~40 m³	40 m³ ~	
	L 36/13	.0111	10011	35円	45円	
第5種	公衆浴場用	10 m³	165円	10∼200 m³	200 m³~	
3701	4/K/11-3//11	10111	10011	18円	23円	
第6種	散水用	10 m³	450円	10 m³ ~		
7,01	נוניניאה	.5111	.00( )	50円		
第7種	i 臨時・娯楽用 5 m³ 1,000円	1,000円		10 m³ ~		
7.7	14412-1 XXX/11	om.	1, 0001 1		150円	

口径	A料金	B料金
13mm	30円	20円
2 O mm	60円	40円
25mm	75円	40円
4 O mm	130円	50円
5 O mm	480円	190円
7 5 mm	520円	220円
100mm	820円	360円
125mm~	管理者が別途定める	<b>単者が別途定める</b>

分担金	
口径	
1 3 mm	10,000円
20mm	27,000円
25mm	
4 O mm	143,000円
5 O mm	247,000円
7 5 mm	668, 000円
1 O O mm	1, 366, 000円
1 2 5 mm~	<b>2者が別途定める</b>

昭和51年4月1日改正時

2ヵ月の料金表

	2 カカツ州业収					
	別	基本制	斗金	従量	料金	
		基本水量	金額	第1段料金	第2段料金	第3段料金
第1種	専用家事用	20 m³	720円	20∼40 m³	40∼60m³	60 m³ ~
J7 - 132	47/13/25/47/13	20111	7201 1	65円	75円	90円
第2種	共用家事用	20 m³	360円	20~40 m <sup>3</sup>	<u>40∼60 m³</u>	60 m³ <b>~</b>
212 — 132	74/12/47/3	2011	000()	35円	40円	45円
第3種	業務用	20 m³	720円	20~40m³	<u>_40∼300 m³</u>	300 m³ ~
	214 222 773		12011	80円	110円	135円
第4種	営業用	20 m³	720円	20∼40 m³	40∼200 m³	200 m³ ~
212 1 122		20111		80円	110円	140円
第5種	公衆浴場用	<b>20</b> m³ .	720円	<u>20∼1, 000</u> m	1, 000 m³ ^	<b>~</b> 45円
310 (E	4/2/2011	20111 /	72013	40円		- 40[3
第6種	散水用	20 m³	1,440円	20∼40 m³	40∼60 m³	60 m³ <b>~</b>
7, 0 IE	UV-17/11	20111	1, , 101 1	80円	90円	150円
第7種	臨時・娯楽用	10 m³	4,000円	10㎡をi	超える分 4	100円
7, / IE	PAR ** 1 35 X 1 1	.0111	., 5501 1	, on e		**************************************

メーター使用料

,	<i>y</i> (C)	דיףנו					
		1ヵ月料金	1ヵ月料金	予納金		分担金	
	口径	A料金	B料金	口径	予納金	口径	分担金
	1 3 mm	120円	80円	専用家事用	2,000円	1 3 mm	30,000円
	2 O mm		115円	共用家事用		2 O mm	82.000円
	25mm	205円	120円	業務用	30,000円	25mm	169,000円
	4 0 mm	550円	320円	営業用	30,000円	4 O mm	430,000円
	50mm	2, 790円	1,670円	公衆浴場用	30,000円	5 O mm	740,000円
	7 5 mm	3, 220円	1,910円	さん水用	5,000円	75mm	2,005,000円
	OOmm	- <b>,</b> - , - <b>, -</b>	2, 135円	娯楽用	30,000円	_ 1 O O mm	4, 097, 000円
1 2	5 mm~	管理者が別途定める	「別途定める	臨時用	者が別途定める	125mm~	が別途定める

## 下水道使用料

## 昭和56年4月1日改正

	2 :	カ月の料金		- <u>56</u> 年1期か	ら適用
			水量区分 1~20㎡	基本料金	
			21~40 m <sup>3</sup>	<u>基本科型</u> 27円	
一般用		330円	41∼60 m³	30円	
臨時用		330[]	61∼80m³	40円	
			81~100 m³	48円	
			101∼500m³	55円	
			501 m³ ~	75円	
	公	衆浴場用	10	9	

#### 下水道使用料

昭和59年4月1日改正 2ヵ月の料金 59年3期から適用

		水量区分	·
		1∼20 m³	基本料金
		21∼40 m³	38円
一般用	580円	41∼60 m³	52円
臨時用		61∼80 m³	60円
		81~100 m³	85円
		101∼500 m³	105円
		501 m³ ~	115円
公衆浴場用		15P	9

平成元年4月1日改正時 2ヵ月の料金表 公表改定率23.84% 13年ぶりの料金改定

租		基本料	4金	従量	料金	
<u> </u>		基本水量	金額	第1段料金	第2段料金	
第1種	専用家事用	20 m³	1,000円	20~40m³	40~60 m <sup>3</sup>	60 m³ ~
7/7 · 12	47/12/47/11	20111	1,00013	80円	95円	115円
第2種	共用家事用	20 m³	750円	<u>20∼40 m³</u>	40∼60 m <sup>3</sup>	60 m³ <b>~</b>
7,- 12	7 17 13 23 13 7 13		70013	80円	95円	115円
第3種	業務用	20 m³	1,000円	20~40 m <sup>3</sup>	40∼300 m³	300 m³ ~
	51477711		1, 000, 1	95円	140円	170円
第4種	営業用	20 m³	1,000円	_20~40m³	40∼200 m³	200 m³ ~
		20111		95円	140円	180円
第5種	公衆浴場用	20 m³	1,000円	20 <b>~</b> 1, 000 m	1, 000 m³ ~	- 60戸
				50円		
第6種	散水用	20 m³	720円	10~40 m³	_40~60 m³	60 m³ ~
		111		80円	110円	170円
第7種	臨時・娯楽用	10 m³	5,000円	10㎡を	超える分 5	500円

平成元年6月請求分から改定後料金を請求

	メーター使用料料金据え置き				分担金	
口径	A料金	B料金	口径	予納金	口径	分担金
1 3 mm	240円		専用家事用		13mm	45,000円
2 O mm	390円	230円	共用家事用		2 O mm	123,000円
25 mm	410円	240円	業務用	30,000円	25mm	209,000円
4 O mm	1, 100円	640円	営業用	30,000円	4 Omm	645,000円
5 O mm	5, 580円	3, 340円	公衆浴場用	30,000円	5 O mm	1,111000円
7 5 mm	6, 440円	3,820円	さん水用	5,000円	75 mm	3,008,000円
1 O O mm	7, 140円		娯楽用	30,000円	100mm	6, 145, 000円
125mm~	管理者が別途定める	2者が別途定める	臨時用	者が別途定める	125mm~	が別途定める

#### 下水道使用料

## 昭和63年4月1日改正

<u>63年1期</u>(6月請求分)から適用 2ヵ月の料金 水量区分 1~20㎡ 基本料金 51円 21~40m³ 一般用 41~60 m<sup>2</sup> 68円 .720円 臨時用 61~80 m<sup>3</sup> 81~100 m<sup>3</sup> 87円 105円 101~500 m 130円 501 m³ ~ 143円 公衆浴場用 20円

平成9年4月1日改正時 2ヵ月の料金

従量料金

公表平均改定率30.78%

種 別	基本料金			
	基本水量	金額		
1 3 mm	20 m³	1,520円		
2 O mm	20 m³	1,880円		
25 mm	20 m³	2, 140円		
4 O mm	3,000円			
50mm	7, 200円			
75mm	13, 200円			
100mm	22, 600円			
150mm	57, 400円			

N Z		9用	公衆:	谷場用		寺用	
分							
は田小量	<u>~25mm</u>	<u>40mm∼</u>	<u>∼25m</u> m	40mm~	<u>∼</u> 25mm	_40mm∼	
1~20 m³	基本料金内	100円	基本料金内		基本料金内		
21~40m³	100	円		,		•	
_41~60 m³	130	)円					
_61∼80 m³	150	円	70円		F0/	\rm	
81~100 m³	170	円			500	)H	
101~200 m	190	円					
201 m²~	210	円					
料金体系を	口径別に	変更					

料金体系を口径別に変更 阪水分賄金21.68%の値上げ

消費税の加算請求(下水道使用料を除く)

メータ	俥	田	抝	മ	瘞	ıĿ	

71 1 = 3K	
口径	分担金
13mm	64,000円
2 O mm	175, 000円
25mm	297, 000円
4 Omm	918,000円
5 O mm	1, 580, 000PT

<u>メー</u> ター	使用料
口径	
1 3 mm	•
20mm	
25mm	
40mm	廃止
5 O mm	19611
7 5 mm	
100mm	i
125mm~	

1		•	25mm	297, 000H]
			4 Omm	918, 000円
	概算料金	<u>臨時用のみ</u>	5 O mm	1, 580, 000円
	口径	概算料金	7 5 mm	4, 265, 000円
	~25mm	50,000円	100mm	8, 710, 000円
	40mm∼	75,000円	50mm~	管理者が別途定める

予納金制度=臨時用を除き廃止する。 臨時用予納金は4月1日受付分から徴収 9年1期分から改定後料金を徴収(6月請求分から) 臨時用を除く予納金の返還(原則口座還付) 分担金は平成11年3月31日申請分までは旧料金

#### 下水道使用料

平成10年4月1日改正

2ヵ日の料金

前回の改定は昭和63年4月

	~ /3 / 3 V / / 1 ALC		アントリー
		水量区分	
Ì		1~20 m³	基本料金
		21~40m³	71円
一般用	920円	41~60m³	95円
臨時用	320[]	61~80m³	121円
		81~100 m <sup>3</sup>	144円
		101∼500 m³	156円
		501 m³ ~	162円
公衆浴場用		25円	·

平均改定率29.01%

平成10年1期分(6月請求分)から請求

平成13年4月1日改正

2ヵ月の料金

従量料金

公表改定率23.59%

基本水量     金額       1 3 mm     20 m³     1,800 P       2 0 mm     20 m³     2,260 P			1,1			
1 3 mm 20 m³ 1,800円 2 0 mm 20 m³ 2,260円 2 5 mm 20 m³ 3,000円 4 0 mm 5,000円 5 0 mm 10,400円 7 5 mm 21600円	<u>種</u> 別	基本料金				
2 O mm 20 m³ 2, 260円 2 5 mm 20 m³ 3, 000円 4 O mm 5, 000円 5 O mm 10, 400円 7 5 mm 21600円		基本水量	金額			
25 mm 20 m³ 3,000円 40 mm 5,000円 50 mm 10.400円 75 mm 21600円	1 3 mm	20 m³	1, 800円			
4 O mm 5,000円 5 O mm 10,400円 7 5 mm 21600円	2 O mm	20 m³	2, 260円			
5 O mm 10,400円 7 5 mm 21600円	25mm	20 m³	3, 000円			
75mm 21600円	4 O mm	5,000円				
	5 Omm	10. 400円				
1 0 0 mm 40, 200円	7 5 mm	21600円				
	1 O O mr	40, 200円				
150mm 107,000円	150mm	107, 0	)00円			

区分	臨時用
使用水量	m~   ~25mm   40mm~
1~20m	
21∼40 m³	
41~60 m	
_61∼80 m³	FOOTH
81~100m³	500円
101∼200 m³	
201 m³ ~	
101~200 m <sup>3</sup>	

阪水分賄金12.1%の値上げも反映

分	担	余
/3	1-	عدد

		1 0 11114	04, 000[ ]
		20mm	175, 000円
		25mm	
		4 O mm	918, 000[7]
概算料金	臨時用のみ	5 Omm	1, 580, 000円
口径	概算料金	7 5 mm	4, 265, 000円
. ~25mm	50,000円	100mm	8,710,000円
40mm~	75,000円	5 O mm∼	管理者が別途定める

×	ータ	一使	用	料	
---	----	----	---	---	--

口径	
1 3 mm	
2011	
25mm	·
4 O mm	廃止
5 O mm	19677
75mm	
100mm	
125mm~	

臨時用水道の基本水量制度を廃止する

改定料金は4月1日使用分から徴収(日割計算採用)

#### 下水道使用料

## 平成14年4月1日改正

2ヵ月の料金

4月1日使用分から日割り請求方式に変更

		水量区分				
		1∼20m³	基本料金			
		21~40 m <sup>3</sup>	82円			
一般用	1,060円	41∼60 m³	110円			
臨時用	1,000[]	61∼80 m³	140円			
		81~100m³	167円			
		101~500m <sup>3</sup>	181円			
		501 ㎡ ~	188円			
公衆浴場用		29				

平均改定率15.69%

1日最大: 57200 綾/日

阪水受力 47971

阪水へσ. 218, 529, 000

水道事業開始 昭和10年3月29日 昭和13年4月1日供用開始 法適用 昭和34年4月1日 <15年度決算数値>

行政区域内人口89,610人 計画給水人口94,100人 現在給水人口89,501人 現在給水戸数37,472戸

取水量 自己水4,178立方/日 阪水受水26,752立方/日 水利権10,670立法/日

配水能力 57,872立方 年間総配水量11,235,026立方 一日細大配水量35,224立方

年感想有収水量10,420,733立方 有收率92.75%

配水管延長 公道敷207,025m 専用敷Om その他Om

ー日細大配水量 30,781立方 一人一日細大配水量394リットル 一人一日平均配水量344リットル 水利権 10,670立方/日 導水管延長5,168メートル 送水管延長5,036メートル

平成18年4月1日改正 2ヵ月の料金

従量料金

公表改定率%

臨時用

~25mm | 40mm~

546,00円

			1				
<u>種 另</u>		料金	区分		9.	公衆》	谷場用
	基本水量	金額	使用水量	<b>∼</b> 25mm	40mm~	~25mm	40mm~
1 1 3 m	m 20 m³	1, 890円	1∼20 m³	基本料金内		基本料金内	
		1, 000, 3	21~40 m		00円		
2 O m	m 20 m³	2, 373円	41~60 m		00円		
<u> </u>		-, -, -, -,	61~80m³	231.		147	00円
2 5 m	n 20 m³	3, 150円	81~100 m <sup>3</sup>	252.		'''	
	-		101~200 m <sup>3</sup>	283.			
4 O m	n 5, 3	34円	201 m³ ~	315.	0014		
	_						
5 O m	n   11, 1	30円					
<u> </u>	_				4	八和本	
7 5 m	n   23, 5	20円				分担金	分割
<del>                                     </del>						口径	6
1 0 0	nn 44, 7	30円				13mm	18
150	nn 121 '	380円				20mm	31
1301	IIII 121, .	2001.3	١.			25mm	96
			概算料金	臨時用の	121	4 Omm 5 Omm	1, 65
			194. <del>37.</del> 47.32	四时刊0.	107	5 0 111111	1,00

分担金 67, 200円 183, 750円 311,850円 963, 900円 1, 659, 000円 4, 478, 250円 7 5 mm

口径 概算料金 ~25mm 50,000円 100mm 9, 145, 500円 40mm~ 75,000円 50mm~ 管理者が別途定める

改定料金は4月1日使用分から徴収(日割計算採用)

平成16年4月1日より総額表示に変更(消費税含む) 下水道使用料 平成14年4月1日改正

2ヵ月の料金

\_4月1日使用分から日割り請求方式に変更

		水量区分	
		1~20 m <sup>3</sup>	基本料金
		21~40m³	86.10円
一般用	1, 113, 00円	41~60 m <sup>3</sup>	115.50円
臨時用	1, 113.00	61~80 m³	147.00円
		81~100 m <sup>3</sup>	175.35円
	101~500 m <sup>3</sup>	190.05円	
		501 m³ ~	197.40円
公衆浴場用		30. 45	円

平均改定率15.69%

57200 綾/日 T日最大配水量 47971 阪水受水量

218, 529, 000 阪水への出資金

水道事業開始 昭和10年3月29日 昭和13年4月1日供用開始 法適用 昭和34年4月1日 <15年度決算数値>

行政区域内人口89,610人 計画給水人口94,100人 現在給水人口89,501人 現在給水戸数37,472戸 取水量 自己水4,178立方/日 阪水受水26,752立方/日 水利権10,670立法/日

配水能力 57,872立方 年間総配水量11,235,026立方 一日細大配水量35,224立方

年感想有収水量10,420,733立方 有收率92.75%

配水管延長 公道敷207,025m 専用敷Om その他Om

一日細大配水量 30,781立方 一人一日細大配水量394リットル 一人一日平均配水量344リットル 水利権 10,670立方/日 導水管延長5,168メートル 送水管延長5,036メートル

#### 消費税 改正による 金額修正 H26.4.1 2ヵ月の料金

- 2カ月の科金						
種別		本料金				
	基本水量	金額				
13mm	20 m³	1, 944. 0円				
2 O mm	20 m³	2, 440.8円				
25mm	20 m³	3, 240. 0円				
4 O mm	5, 486. 4円					
5 Omm	11,	148. 0円				
7 5 mm	24, 192. 0円					
1 O O mn	46, 008. 0円					
150mm	124,	848. 0円				

区分		<b>设用</b>		谷場用	臨	<b>寺用</b>
使用水量	~25mm	40mm∼	~25mm	40mm~	~25mm	40mm~
1∼20 m³	基本料金内	126.00円	基本料金内			
21~40 m³	151.	20円				
41~60 m	194.	40円	]			
61~80 m	237.	60円	151	20円	EC1	eom.
81~100 m³	259.	20円	131.	20[7]	561.	00H
101∼200 m³	291.	60円				
201 m³ <b>~</b>	324.	00円				
	:					

<u>分担金</u>

分担金

 概算料金 臨時用のみ 口径 概算料金 50,00円
 13mm 69,120円

 20mm 189,000円

 25mm 320,760円

 40mm 991,440円

 50mm 1,706,400円

 口径 概算料金 75mm 4,606,200円

 ~25mm 50,000円 100mm 9,406,800円

 40mm~ 75,000円 150mm~ 管理者が別途定める

国の経過措置に合わせ、経過措置期間を設定。 H26.3.31以前から使用を開始していたご使用者様には適用する。 定例検針が偶数月は4月検針まで、奇数月は5月検針まで適用。 H26.4.1以降に使用を開始した場合は、8%とする。

#### 下水道使用料

#### 消費税改正H26.4.1

#### 2ヵ月の料金

		水量区分	
	1~20 m³	基本料金	
		21~40 m³	88.56円
一般用	1, 113, 00円	41~60 m <sup>3</sup>	118,80円
臨時用   1,113.00円	1, 113, 001 1	61~80m³	151.20円
	81~100 m <sup>3</sup>	180.36円	
		101∼500 m³	195, 48円
		501 m² ~	203, 04円
公衆浴場用		31. 32	円

# 第4編 水道工務課の業務

## 第4編 水道工務課の業務

#### 1 施設整備計画について

老朽管の更新や施設の耐震化を計画的に実施するために、平成18年度から平成41年度までの24年間の施設整備計画を策定し、老朽化した水道施設の更新や耐震化に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災及び東日本大震災をはじめとする大規模災害の教訓や各種の知見をもと に、今後発生が予測される南海トラフ巨大地震等の地震対策の必要性から、配水池や浄水施 設についての耐震診断や補強工事等を行い、計画的に施設整備を行っていきます。

#### 2 改良工事の概要

#### (1) 老朽管の更新について

水道施設の老朽化対策の一つとして、古くなった水道管の更新を行っています。老朽 化が進むと、腐食などが原因で水道管から漏水する危険があります。

そのため上下水道部では、市内約250キロメートル布設されている水道管のうち、 年間約3キロメートルを目標に更新に取り組んでいます。

#### (2) 管路の耐震化について

大規模地震が発生すると、水道管から漏水し、各地で断水が発生するなどの被害が予想されます。地震で発生する漏水の原因の多くは、水道管のつなぎ目(継手部分)が外れる、損傷する等して起こるものです。

古い水道管を更新するときに、管の材質が強靭な上、接続部に伸縮性と抜出し防止機能を備えた耐震管に取り替えることで耐震化を図ります。

また、大規模な地震が起きたときに避難や復旧の拠点となる場所(公共施設、学校、集会所、病院など)につながる水道管を優先的に耐震化することで、災害時における効果的な水道水の供給に努めています。

## (3) 平成28年度 導水管・送水管・配水管の延長

## 導送水管延長

口径	導 送	水	管	延	長	数	(m)
(mm)	既 設 延 長	新	設	撤	去	現在	延長数
500	2, 851						2,851
400	1, 952						1,952
350	1,051						1,051
300	1, 041						1,041
250	762						762
200	200						200
150	1, 727						1,727
125	90						90
100	530						530
計	10, 204						10, 204

## 配水管延長

口径		配力	< <sup>3</sup>	管	延	長	数	(m)	
(mm)	既 設	延 長	新	設	撤	去	現右	E延長	数
700	2, 939							2, 9	939
500	1, 135							1, 1	135
450	2, 945						2, 945		945
400	2, 899						2, 899		399
350	435							4	135
300	3, 687			307		4		3, 9	990
250	5, 347			300		236	5, 411		111
200	]	15, 355		95		844		14, 6	606
	VP	1, 136						1, 1	136
150	4	13, 825	1,	, 382		281		44, 9	926
125		3, 979						3, 9	979
	VP	2, 559		2		1		2, 5	560
100	7	70, 637		748		686		70,6	599
	VP	9, 184		25		12		9, 1	197
75	7	72, 487		276		75		72,6	888
計	238, 549		3,	, 135	2	, 139	139 239		545

## 3 漏水調査

市街地を中心に随時調査実施

※除外区域 奥池地区(配水管改良事業実施)

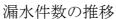
芦屋浜地区 (1層ポリエチレン管改良事業実施) 南芦屋浜地区 (2層ポリエチレン管配管済)

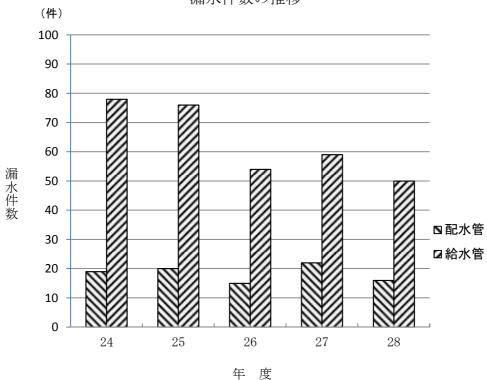
震災復興区画整理事業区域

## 4 漏水対応

漏水緊急修繕工事件数

	配水管	給水管	合 計
平成 24 年度	19	78	97
平成 25 年度	20	76	96
平成 26 年度	15	54	69
平成 27 年度	22	59	81
平成 28 年度	16	50	66





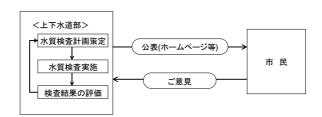
#### 5 水質検査



#### (1) 水質検査計画基本方針

水質検査計画は、水源の特性などを踏まえ、水源から蛇口までの水質検査を行う地点、項目、頻度及び方法、その他必要な事項を定めています。この水質検査計画に基づき水道水の水質検査を行います。

また水質検査計画は、毎年度前に公表します。公表した水質検査計画に基づき水質検査を行い、水質検査結果についてもホームページ等で公表します。また、皆様のご意見を今後の計画に反映させるプロセスが組み込まれています。



#### (2) 検査地点

各浄水場の原水 2 地点、および浄水 8 地点、参考地点(浄水) 9 地点の合計 19 地点で 検査しています。

配水系統	原水	浄水	参考地点 (浄水)
奥池浄水場系統	奥池浄水場 (奥山貯水池)	奥池第3工区	奥池第1工区 奥池第2工区 奥池第4工区
奥山浄水場系統	奥山浄水場 (芦屋川表流水)	落合橋調整池 奥山浄水場事務所 三条北緑地	山麓公園
阪神水道系統	- (浄水受水のため)	翠ヶ丘公園 三条公園 芦屋公園 南芦屋浜下水処理場	松ノ内公園 津知公園 宮川小学校 南宮公園 潮見集会所
地点数	2 地点	8 地点	9 地点

※浄水の参考地点…浄水の補足として、配水の水質を確認する地点

## (3) 検査項目及び水質基準

水質検査は、水質基準 51 項目の検査が法律で義務付けられています。これらの項目には、安全性や利便性を確保するための基準や目標が設けられています。

項目 No	水質項目	基準値	区分
1	一般細菌	100集落/mL以下	
	大腸菌	検出されないこと	病原生物
	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	
	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	~
	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	重金属
	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	
8	六価クロム化合物	0.05mg/L以下	
	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	無機物質
	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	7111/2/17
	ホウ素及びその化合物	1. 0mg/L以下	
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	
		0.05mg/L以下	
1.0	1, 4-シオキサン シス-1, 2-ジクロロエチレン 及びトランス-1, 9-ジクロロエチレン		
16	及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	一般有機化学物質
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	
20	ベンゼン	0.01mg/L以下	
21	塩素酸	0.6mg/L以下	
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	消毒
26	臭素酸	0.01mg/L以下	副生成物
	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	田小工八人100
	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	
	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	
	ブロモホルム	0.09mg/L以下	
	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	
	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	
	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	色
	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	
	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	
	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	<u> </u>
	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	色
38	塩化物イオン	200mg/L以下	74. J.n
39	カルシウム,マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	味覚
	蒸発残留物	500mg/L以下	7/4 //-
	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	発泡
	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	におい
	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	•
	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	発泡
	フェノール類	0.005mg/L以下	におい
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	味覚
	pH値 吐	5.8以上8.6以下	
	中	異常でないこと	基礎的
	臭気	異常でないこと	性状
	色度 一	5度以下	
51	濁度	2度以下	

## (4) 水質検査結果 平成28年度水質状況 概況

浄水に関する水質基準 51 項目について、平成 28 年度の水質試験結果を次ページ以降 に示しました。

これらは、(2)で示す検査地点で測定した水質データを、奥山浄水場系統、奥池浄水場系統、阪神水道系統の3つの配水系統別に集計し、月別及び年間の最大値・平均値を示したものです。

平成 28 年度水道水の水質検査について、水質基準項目 (51 項目) の全てについて水質基準に適合していました。

## (奥山浄水場系統) 浄水の水質検査結果 (平成 28 年度)

項目名	水道水質基準	奥山浄水場系統 浄水			
<b>次</b> 日石	<b>小坦小貝坐牛</b>	最大値(基準値に対する割合)		平均値(基準	準値に対する割合)
1 一般細菌	100集落/mL以下	2	(2%)	0	(0%)
2 大腸菌	検出されないこと	不検出	_	不検出	_
3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	(0%)	<0.0003	(0%)
4 水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	(0%)	<0.00005	(0%)
5 セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
6 鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
8 六価クロム化合物	0.05mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	(0%)	<0.004	(0%)
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.74	(7%)	0.63	(6%)
12 フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.35	(44%)	0.31	(39%)
13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.02	(2%)	0.02	(2%)
14 四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	(0%)	<0.0002	(0%)
15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)
16シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	(0%)	<0.004	(0%)
17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	(0%)	<0.002	(0%)
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
20 ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
21 塩素酸	0.6mg/L以下	0.06	(10%)	0.06	(10%)
22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	(0%)	<0.002	(0%)
23 クロロホルム	0.06mg/L以下	0.018	(30%)	0.007	(12%)
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.005	(17%)	0.007	(12%)
25 ジブロモクロロメタン	0.05mg/L以下	0.005	(5%)	0.004	(3%)
26 臭素酸	0.01mg/L以下	0.003	(40%)	0.002	(15%)
27 総トリハロメタン	0.0 mg/L以下	0.030	(30%)	0.002	(15%)
28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.008	(27%)	0.004	(14%)
29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.009	(30%)	0.004	(16%)
30 ブロモホルム	0.09mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)
33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.03	(15%)	0.02	(8%)
34 鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.03	(0%)	<0.03	(0%)
35 銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)
36 ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	11	(6%)	11	(5%)
37 マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
38 塩化物イオン	0.03mg/L以下	12	(6%)	9	(5%)
39 カルシウム, マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	36	(12%)	33	(11%)
40 蒸発残留物	500mg/L以下	120	(24%)	89	(18%)
40 然光残留物   41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	(0%)	<0.02	(0%)
			(0%)		(0%)
42 ジェオスミン 43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	(0%)	<0.000001 <0.000001	(0%)
	0.00001mg/L以下 0.02mg/L以下	<0.000001	(0%)		(0%)
44 非イオン界面活性剤	<u> </u>	<0.005		<0.005	(0%)
45 フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	(0%)	<0.0005	(21%)
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.8	(21/0)	0.6	
47 pH値	5.8以上8.6以下	7.9	_	7.7	_
48 味	異常でないこと	異常なし	_	異常なし	_
49 臭気	異常でないこと	異常なし	(10%)	異常なし	(10%)
50 色度	5度以下	0.5	(10%)	0.5	(10%)
51 濁度	2度以下	<0.1	(0%)	<0.1	(0%)

## (奥池浄水場系統) 浄水の水質検査結果 (平成28年度)

項目名	水道水質基準	奥池浄水場系統 浄水			
· 埃日石	小坦小貝基华	最大値(基準	隼値に対する割合)	平均値(基準	準値に対する割合)
1 一般細菌	100集落/mL以下	1	(1%)	0	(0%)
2 大腸菌	検出されないこと	不検出	_	不検出	_
3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	(0%)	<0.0003	(0%)
4 水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	(0%)	<0.00005	(0%)
5 セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
6 鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
8 六価クロム化合物	0.05mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	(0%)	<0.004	(0%)
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.20	(2%)	0.15	(2%)
12 フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.24	(30%)	0.23	(29%)
13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.02	(0%)	<0.02	(0%)
14 四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	(0%)	<0.0002	(0%)
15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)
16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.004	(0%)	<0.004	(0%)
17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002	(0%)	<0.002	(0%)
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
20 ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
21 塩素酸	0.6mg/L以下	0.11	(18%)	0.08	(13%)
22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	(0%)	<0.002	(0%)
23 クロロホルム	0.06mg/L以下	0.018	(30%)	0.011	(18%)
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.008	(27%)	0.005	(17%)
25 ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
26 臭素酸	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.023	(23%)	0.014	(14%)
28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.011	(37%)	0.008	(25%)
29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.005	(17%)	0.003	(11%)
30 ブロモホルム	0.09mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.008	(0%)	<0.008	(0%)
32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)
33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.01	(5%)	0.01	(5%)
34 鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.03	(0%)	<0.03	(0%)
35 銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)
36 ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	7	(4%)	7	(4%)
37 マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)
38 塩化物イオン	200mg/L以下	9	(5%)	9	(4%)
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	21	(7%)	21	(7%)
40 蒸発残留物	500mg/L以下	66	(13%)	57	(11%)
41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	(0%)	<0.02	(0%)
42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.000004	(40%)	0.000002	(17%)
43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.000003	(30%)	0.000001	(13%)
44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)
45 フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	(0%)	<0.0005	(0%)
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	1.1	(37%)	0.8	(28%)
47 pH値	5.8以上8.6以下	7.5	-	7.3	_
48 味	異常でないこと	異常なし	_	異常なし	_
49 臭気	異常でないこと	異常なし	_	異常なし	_
50 色度	5度以下	<b>美術な</b> じ 〈0.5	(0%)	く0.5	(0%)
51 濁度	2度以下	<0.3 <0.1	(0%)	<0.1	(0%)
JI /倒反	2度以下	₹0.1	(0/0)	⟨∪.1	(0/0)

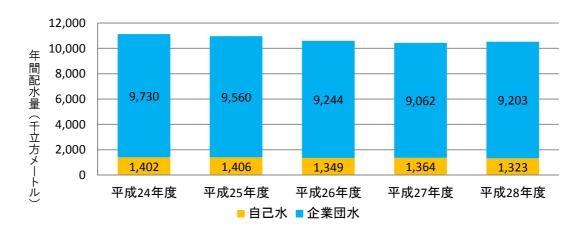
(阪神水道系統) 浄水の水質検査結果 (平成 28 年度)

		阪神水道系統 浄水				
項目名	水道水質基準	最大値(基準値に対する割合) 平均値(基準値に対する割合)				
	100集落/mL以下	以八胆(奉生	(1%)	<u> </u>	(0%)	
2 大腸菌	検出されないこと	不検出	_	不検出	_	
3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	〈0.0003	(0%)	<0.0003	(0%)	
4 水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	(0%)	<0.00005	(0%)	
5 セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
6 鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
8 六価クロム化合物	0.05mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)	
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	(0%)	<0.004	(0%)	
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	1.10	(11%)	0.96	(10%)	
12 フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.10	(13%)	0.90	(10%)	
13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.10	(2%)	0.00	(2%)	
14 四塩化炭素		<0.0002	(0%)	<0.0002	(0%)	
14 四塩化灰系   15 1.4-ジオキサン	0.002mg/L以下 0.05mg/L以下	<0.0002	(0%)	<0.0002	(0%)	
16 シス-1.2-ジクロロエチレン及びトランス-1.2-ジクロロエチレン	0.05mg/L以下 0.04mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)	
	_		(0%)		(0%)	
17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.002 <0.001	(0%)	<0.002 <0.001	(0%)	
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
19 トリクロロエチレン 20 ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	(0%)	<0.001	(0%)	
	0.01mg/L以下	<0.001	_	<0.001	_	
21 塩素酸	0.6mg/L以下	0.08	(13%)	0.06	(11%)	
22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	(0%)	<0.002	(0%)	
23 クロロホルム	0.06mg/L以下	0.010	(17%)	0.004	(7%)	
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.005	(17%)	0.003	(11%)	
25 ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.007	(7%)	0.004	(4%)	
26 臭素酸	0.01mg/L以下	0.005	(50%)	0.002	(18%)	
27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.027	(27%)	0.014	(14%)	
28トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.003	(0%)	<0.003	(0%)	
29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.009	(30%)	0.005	(16%)	
30 ブロモホルム	0.09mg/L以下	0.001	(1%)	0.001	(1%)	
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.008	(0%)	<0.008	(0%)	
32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)	
33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.04	(20%)	0.02	(11%)	
34 鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.03	(0%)	<0.03	(0%)	
35 銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	(0%)	<0.01	(0%)	
36 ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	17	(9%)	16	(8%)	
37 マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	0.001	(2%)	0.001	(2%)	
38 塩化物イオン	200mg/L以下	17	(8%)	14	(7%)	
39 カルシウム, マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	43	(14%)	41	(14%)	
40 蒸発残留物	500mg/L以下	110	(22%)	98	(20%)	
41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	(0%)	<0.02	(0%)	
42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下	<0.000001	(0%)	<0.000001	(0%)	
43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	(0%)	<0.000001	(0%)	
44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	(0%)	<0.005	(0%)	
45 フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	(0%)	<0.0005	(0%)	
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.9	(30%)	0.7	(24%)	
47 pH値	5.8以上8.6以下	7.7	-	7.6	-	
48 味	異常でないこと	異常なし	_	異常なし		
49 臭気	異常でないこと	異常なし		異常なし		
50 色度	5度以下	0.5	(10%)	0.5	(10%)	
51 濁度	2度以下	0.1	(5%)	0.1	(5%)	

## 6 配水量(奥池浄水場・奥山浄水場・阪神水道企業団)

水源別年間配水量 (m³)

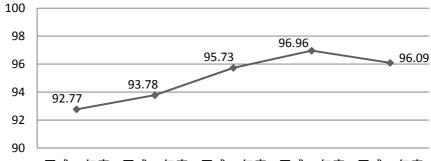
	区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自	奥池浄水場	230, 086	228, 268	208, 597	231, 235	227, 736
己	奥山浄水場	1, 171, 477	1, 177, 367	1, 140, 589	1, 132, 353	1, 095, 010
水	合 計	1, 401, 563	1, 405, 635	1, 349, 186	1, 363, 588	1, 322, 746
受水	阪神水道企業団	9, 730, 450	9, 560, 470	9, 244, 200	9, 062, 370	9, 203, 000
j	総配水量	11, 132, 013	10, 966, 105	10, 593, 386	10, 425, 958	10, 525, 746
	受 水 率	87.4%	87.2%	87. 3%	86.9%	87.4%



一日配水量及び有収水量

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年間総配水量 (m³)	11, 132, 013	10, 966, 105	10, 593, 386	10, 425, 958	10, 525, 746
一日平均配水量(m³)	30, 415	30, 044	29, 023	28, 564	28, 759
一日最大配水量 (m³)	33, 494	34, 270	32, 728	31, 456	31, 810
一日最少配水量(m³)	27, 375	26, 305	25, 630	25, 812	26, 168
年間総有収水量 (m³)	10, 326, 661	10, 284, 487	10, 140, 954	10, 108, 615	10, 114, 040
有 収 率 (%)	92. 77	93. 78	95. 73	96. 96	96. 09

年度別有収率



平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度

## 7 電力使用量

			H24	H25	H26	H27	H28
	電力使用量	kw	197, 006	185, 999	165, 521	177, 754	161, 476
奥池浄水場	浄 水 量	m³	234, 510	235, 255	210, 262	230, 647	227, 020
	電力使用量/浄水量	kw/m³	0.84	0. 79	0. 79	0.77	0.71
	電力使用量	kw	360, 659	343, 040	335, 497	349, 868	357, 017
奥山浄水場	浄 水 量	m³	1, 273, 742	1, 258, 236	1, 268, 488	1, 267, 628	1, 261, 463
	電力使用量/浄水量	kw/m³	0. 28	0. 27	0. 26	0. 28	0. 28

## 8 薬品使用量

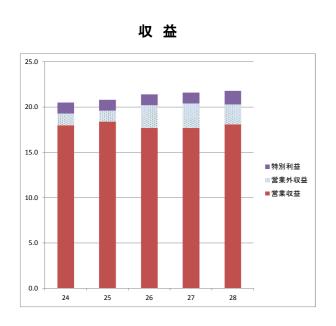
			H24	H25	H26	H27	H28
	次亜塩素酸ナトリウム	kg	6, 010	7, 280	5, 980	6, 790	6, 560
奥池浄水場	ポリ塩化アルミニウム	kg	13, 880	11, 950	11, 930	11, 350	10, 780
	ソーダ灰	kg	700	1,000	500	250	550
奥山浄水場	次亜塩素酸ナトリウム	kg	18,000	18,000	18,000	19, 960	15, 970

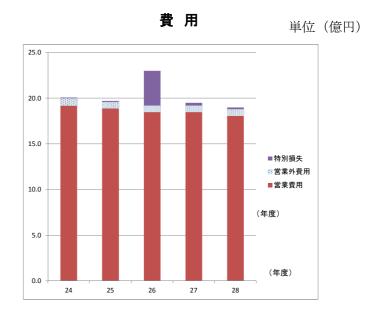
第5編 水道管理課の業務

## 第5編 水道管理課の業務

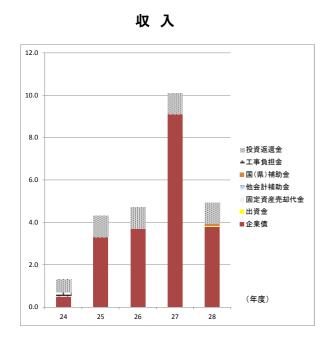
## 1 経営の推移

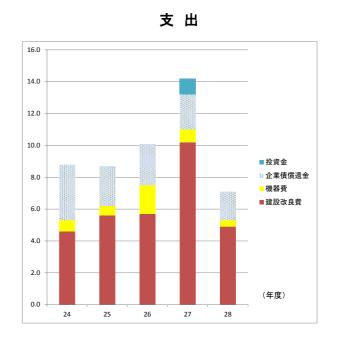
収益 的 収支





資本的収支





## 2 収益的収入及び支出

(単位:円)

	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	営業収益	1,796,829,992	1,833,965,539	1,776,055,034	1,773,941,573	1,804,283,974
	給水収益	1,725,074,709	1,722,311,329	1,695,214,274	1,692,044,436	1,695,821,646
	受託工事収益	7,516,441	41,709,870	17,171,000	13,668,597	17,007,508
	その他営業収益	64,238,842	69,944,340	63,669,760	68,228,540	91,454,820
	営業外収益	131,009,174	122,777,071	246,861,064	266,356,375	217,526,713
収	分担金	69,503,000	93,175,000	96,579,223	68,516,000	78,727,000
益	受取利息及び配当金	5,076,542	3,670,769	1,486,101	805,369	694,567
的	他会計補助金	43,163,157	24,476,000	21,660,000	66,275,000	8,816,400
収	長期前受金戻入	-	_	125,425,485	129,352,961	126,072,733
入	雑収益	13,266,475	1,455,302	1,710,255	1,407,045	3,216,013
	特別利益	119,292,013	119,004,390	119,014,827	119,053,897	153,762,002
	固定資産売却益	_	_	_	_	_
	過年度損益修正益	292,013	4,390	14,827	53,897	232,372
	その他特別利益	119,000,000	119,000,000	119,000,000	119,000,000	153,529,630
	合計	2,047,131,179	2,075,747,000	2,141,930,925	2,159,351,845	2,175,572,689
	営業費用	1,922,646,249	1,891,187,116	1,857,315,393	1,851,727,931	1,812,527,665
	原水及び浄水費	227,992,241	216,942,415	228,877,216	234,909,046	217,478,460
	受水費	672,695,072	672,695,072	672,695,072	674,538,073	668,918,301
	配水費	63,088,315	56,208,024	65,892,181	78,270,108	74,929,176
	給水費	116,678,984	111,563,515	118,205,558	111,042,242	113,293,137
	受託工事費	24,174,885	53,588,989	22,621,378	18,498,445	21,621,204
	業務費	175,446,497	175,276,949	166,644,539	158,032,864	151,245,068
収	総係費	207,983,950	161,594,058	128,583,727	97,095,510	106,404,323
益的	減価償却費	433,774,580	440,335,244	450,819,620	465,677,170	457,591,970
支	資産消耗費	811,725	2,982,850	2,976,102	13,664,473	1,046,026
出	営業外費用	78,525,000	69,722,744	69,549,160	70,508,434	71,302,267
	支払利息及び企業債取扱諸費	78,122,495	69,476,412	69,188,017	70,012,391	71,118,990
	雑支出	402,505	246,332	361,143	496,043	183,277
	特別損失	6,599,902	8,094,427	377,483,296	23,188,994	15,495,246
	固定資産売却損	2,384,992	3,587,187	27,971,987	21,981,710	13,678,423
	過年度損益修正損	4,214,910	4,507,240	1,980,309	1,207,284	1,816,823
	その他特別損失	_	_	347,531,000	_	
	合計	2,007,771,151	1,969,004,287	2,304,347,849	1,945,425,359	1,899,325,178
差引	純利益(△は純損失)	39,360,028	106,742,713	△ 162,416,924	213,926,486	276,247,511

## 3 資本的収入及び支出

(単位:円)

	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	企業債	55,400,000	331,000,000	372,400,000	910,700,000	381,800,000
	出資金	-	-	-	-	1,547,250
資	固定資産売却代金	564,637	949,776	1,170,071	1,382,582	791,876
本的	他会計補助金	_	_	_	_	_
収	国(県)補助金	_	_	_	_	2,063,000
人	工事負担金	16,026,150	0	0	0	0
	投資返還金	59,974,800	100,000,000	100,000,000	100,000,000	99,965,000
	合計	131,965,587	431,949,776	473,570,071	1,012,082,582	486,167,126
	建設改良費	454,734,605	563,008,893	567,231,055	1,016,082,100	487,880,332
資本	機器費	73,046,430	55,805,833	177,743,306	83,209,320	46,300,320
的支	企業債償還金	349,782,968	253,614,081	265,145,285	224,834,806	177,096,467
出出	投資金	_	0	_	99,980,000	-
	合計	877,564,003	872,428,807	1,010,119,646	1,424,106,226	711,277,119
資.	本的収支不足額	△ 745,598,416	△ 440,479,031	$\triangle$ 536,549,575	△ 412,023,644	△ 225,109,993
補填	当年度消費税資本的収支調整額	17,432,656	24,733,735	47,650,552	75,117,566	34,232,297
財源	損益勘定保留資金	728,165,760	415,745,296	488,899,023	336,906,078	190,877,696
	合計	745,598,416	440,479,031	536,549,575	412,023,644	225,109,993

## 4 損 益 計 算 書

	19、二年二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二					(単位:円)
	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	営業収益	1,796,829,992	1,833,965,539	1,776,055,034	1,773,941,573	1,804,283,974
	給水収益	1,725,074,709	1,722,311,329	1,695,214,274	1,692,044,436	1,695,821,646
	受託工事収益	7,516,441	41,709,870	17,171,000	13,668,597	17,007,508
	その他営業収益	64,238,842	69,944,340	63,669,760	68,228,540	91,454,820
	営業外収益	131,009,174	122,777,071	246,861,064	266,356,375	217,526,713
	分担金	69,503,000	93,175,000	96,579,223	68,516,000	78,727,000
収	受取利息及び配当金	5,076,542	3,670,769	1,486,101	805,369	694,567
益の	他会計補助金	43,163,157	24,476,000	21,660,000	66,275,000	8,816,400
部	長期前受金戻入	-	_	125,425,485	129,352,961	126,072,733
	雑収益	13,266,475	1,455,302	1,710,255	1,407,045	3,216,013
	特別利益	119,292,013	119,004,390	119,014,827	119,053,897	153,762,002
	固定資産売却益	-	_	-	-	-
	過年度損益修正益	292,013	4,390	14,827	53,897	232,372
	その他特別利益	119,000,000	119,000,000	119,000,000	119,000,000	153,529,630
	収益合計	2,047,131,179	2,075,747,000	2,141,930,925	2,159,351,845	2,175,572,689
	営業費用	1,922,646,249	1,891,187,116	1,857,315,393	1,851,727,931	1,812,527,665
	原水及び浄水費	227,992,241	216,942,415	228,877,216	234,909,046	217,478,460
	受水費	672,695,072	672,695,072	672,695,072	674,538,073	668,918,301
	配水費	63,088,315	56,208,024	65,892,181	78,270,108	74,929,176
	給水費	116,678,984	111,563,515	118,205,558	111,042,242	113,293,137
	受託工事費	24,174,885	53,588,989	22,621,378	18,498,445	21,621,204
	業務費	175,446,497	175,276,949	166,644,539	158,032,864	151,245,068
収	総係費	207,983,950	161,594,058	128,583,727	97,095,510	106,404,323
益的	減価償却費	433,774,580	440,335,244	450,819,620	465,677,170	457,591,970
支	資産消耗費	811,725	2,982,850	2,976,102	13,664,473	1,046,026
出	営業外費用	78,525,000	69,722,744	69,549,160	70,508,434	71,302,267
	支払利息及び企業債取扱諸費	78,122,495	69,476,412	69,188,017	70,012,391	71,118,990
	雑支出	402,505	246,332	361,143	496,043	183,277
	特別損失	6,599,902	8,094,427	377,483,296	23,188,994	15,495,246
	固定資産売却損	2,384,992	3,587,187	27,971,987	21,981,710	13,678,423
	過年度損益修正損	4,214,910	4,507,240	1,980,309	1,207,284	1,816,823
	その他特別損失	_	_	347,531,000	-	-
	費用合計	2,007,771,151	1,969,004,287	2,304,347,849	1,945,425,359	1,899,325,178
当年	度純損益(△は純損失)	39,360,028	106,742,713	△ 162,416,924	213,926,486	276,247,511
前年度	『操越利益剰余金(△は純損失)	△ 432,487,424	△ 393,127,396	△ 286,384,683	0	0
その他末	未処分利益剰余金変動額(△は純損失)			2,842,855,026	0	0
	未処分利益剰余金(△は純損失)	△ 393,127,396	△ 286,384,683	2,394,053,419	213,926,486	276,247,511

<sup>※</sup>消費税抜き経理

## 5 貸借対照表

(単位:円)

	科目		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	固;	定資産	10,652,066,926	10,731,719,859	10,756,329,888	11,288,490,807	11,317,138,867
	7	有形固定資産	10,252,101,926	10,431,754,859	10,656,364,888	11,188,510,807	11,217,158,867
		土地	713,031,977	713,031,977	713,031,977	713,031,977	713,031,977
		建物	226,508,077	221,089,453	215,670,829	673,061,200	659,322,575
		構築物	8,453,503,736	8,752,474,032	8,998,305,569	9,047,298,121	9,199,641,674
		機械及び装置	803,847,510	677,429,760	623,536,885	626,549,282	540,805,694
		車両運搬具	13,422,857	12,765,981	10,733,524	7,515,901	6,882,766
資		工具器具及び備品	11,512,499	31,883,258	70,441,997	96,235,286	80,037,340
産の		建設仮勘定	30,275,270	23,080,398	24,644,107	24,819,040	17,436,841
部	1	<b></b>	399,965,000	299,965,000	99,965,000	99,980,000	99,980,000
	流!	動資産	1,101,948,510	1,162,527,609	1,386,425,055	1,555,178,896	1,733,775,585
	Ŧ	見金預金	998,707,588	1,064,288,408	1,218,537,943	1,384,882,562	1,679,272,814
	j	未収金	71,139,042	67,894,874	65,429,996	68,260,108	46,789,957
	1	<b>資</b> 倒引当金	-	-	△ 22,454,601	△ 25,274,406	△ 21,570,734
	7	有価証券	-	-	100,000,000	99,965,000	_
	Ę	<u></u>	31,601,880	29,844,327	24,411,717	26,845,632	28,783,548
	2	その他流動資産	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
		資産合計	11,754,015,436	11,894,247,468	12,142,754,943	12,843,669,703	13,050,914,452
	固:	定負債	37,238,482	37,075,738	3,839,698,251	4,482,409,866	4,689,134,872
	Ž	建設改良企業債	-	-	3,477,435,898	4,227,164,352	4,420,219,358
	災害企業債		679,032	516,288	176,903	^_	_
	退職給付引当金		-	_	325,526,000	218,686,064	232,356,064
	1	<b>修繕引当金</b>	36,559,450	36,559,450	36,559,450	36,559,450	36,559,450
負	流!	動負債	536,409,024	459,085,424	777,265,393	740,217,013	585,143,728
債	Ž	建設改良企業債	-	-	224,662,748	160,971,540	172,796,970
$\mathcal{O}$	3	災害企業債	-	-	172,052	176,903	-
部	j	未払金	410,013,044	330,145,545	394,277,007	422,194,346	255,274,612
	j	項り金	126,395,980	128,939,879	128,192,586	127,309,224	128,559,146
	7	賞与引当金	-	-	29,961,000	29,565,000	28,513,000
		延収益	-	-	2,873,809,205	2,755,134,244	2,632,932,511
	J	長期前受金	-	_	5,842,089,716	5,782,264,665	5,786,035,113
	Ţ	又益化累計額	_	_	$\triangle$ 2,968,280,511	$\triangle$ 3,027,130,421	△ 3,153,102,602
		負債合計	573,647,506	496,161,162	7,490,772,849	7,977,761,123	7,907,211,111
	資.	本金	5,209,512,415	5,287,061,078	1,692,384,480	4,086,437,899	4,301,911,635
	剰	余金	5,970,855,515	6,111,025,228	2,959,597,614	779,470,681	841,791,706
	ž	資本剰余金	6,363,982,911	6,397,409,911	565,544,195	565,544,195	565,544,195
		他会計補助金	270,009,044	270,009,044	4,594,208	4,594,208	4,594,208
資 本		国(県)補助金	723,814,354	723,814,354	28,205,825	28,205,825	28,205,825
かの		受贈資産評価額	910,910,012	944,337,012	102,482,817	102,482,817	102,482,817
部		工事負担金	4,439,270,501	4,439,270,501	430,261,345	430,261,345	430,261,345
		その他資本剰余金	19,979,000	19,979,000	_	_	_
	7	刊益剰余金	△ 393,127,396	$\triangle$ 286,384,683	2,394,053,419	213,926,486	276,247,511
		当年度未処分利益剰余金 当年度未処理欠損金(△表示)	△ 393,127,396	△ 286,384,683	2,394,053,419	213,926,486	276,247,511
		資本合計	11,180,367,930	11,398,086,306	4,651,982,094	4,865,908,580	5,143,703,341
		負債·資本合計	11,754,015,436	11,894,247,468	12,142,754,943	12,843,669,703	13,050,914,452

## 6 キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
当年度純利益	_	-	△ 162,416,924	213,926,486	276,247,511
減価償却費	=	-	450,819,620	465,677,170	457,591,970
引当金の増減額(△は減少)	_	-	377,941,601	△ 104,416,131	8,914,328
長期前受金戻入額	=	-	△ 125,425,485	△ 129,352,961	△ 126,072,733
受取利息及び受取配当金	-	-	△ 1,486,101	△ 805,369	△ 694,567
支払利息及び企業債取扱諸費	_	-	69,188,017	70,012,391	71,118,990
固定資産除売却損	-	-	27,971,987	35,646,183	14,724,449
その他特別利益	-	-	△ 119,000,000	△ 119,000,000	△ 153,529,630
未収金の増減額(△は増加)	-	-	2,464,878	△ 2,830,112	21,470,151
未払金の増減額(△は減少)	_	-	64,131,462	27,917,339	△ 166,919,734
預り金の増減額(△は減少)	_	-	△ 747,293	△ 883,362	1,249,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	-	-	5,432,610	△ 2,433,915	△ 1,937,916
その他の増減額	-	-	26,056,500	0	0
小計	-	-	614,930,872	453,457,719	402,162,741
利息及び配当金の受取額	-	-	1,486,101	805,369	694,567
利息の支払額	-	-	△ 69,188,017	△ 70,012,391	△ 71,118,990
負担金収入等	-	-	119,000,000	119,000,000	153,529,630
業務活動によるキャッシュ・フロー①	-	-	666,228,956	503,250,697	485,267,948
有形固定資産の取得による支出	-	-	△ 730,541,536	△ 1,034,749,442	△ 501,697,698
有形固定資産の売却による収入	-	-	1,083,400	1,280,170	733,219
有価証券の取得による支出	-	-	0	△ 99,980,000	0
有価証券の売却による収入	_	-	100,000,000	100,000,000	99,965,000
補助金等による収入	-	-	10,224,000	10,678,000	1,808,000
国(県)補助金等による収入	-	-	0	0	2,063,000
一般会計出資金による収入	-	-	0	0	1,547,250
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-	-	△ 619,234,136	△ 1,022,771,272	△ 395,581,229
企業債による収入	-	-	372,400,000	910,700,000	381,800,000
企業債の償還による支出		-	△ 265,145,285	△ 224,834,806	△ 177,096,467
財務活動によるキャッシュ・フロー③	_	-	107,254,715	685,865,194	204,703,533
資金増加額(又は減少額)	_	_	154,249,535	166,344,619	294,390,252
資金期首残高	_	-	1,064,288,408	1,218,537,943	1,384,882,562
資金期末残高	=	-	1,218,537,943	1,384,882,562	1,679,272,814

<sup>※</sup>キャッシュ・フロー計算書については、新会計基準の適用により平成26年度より作成しています。

## 7 企業債明細書

				<b>一</b>		利率	償 還	
種 類	発行年月日	発 行 総 額	当年度償還高	償還高累計	未償還残高	(年)	終期	備考
年度債		円	円	円	円	%	年月	
63	平成 元. 3.27	238,000,000	14,492,038	206,846,848	31,153,152	4.85	31.3	大蔵省資金運用部
63	元. 3.30	72,000,000	5,088,517	72,000,000	0	4.95	29.3	公営企業金融公庫
8	9. 3.25	237,100,000	19,065,239	237,100,000	0	2.8	29.3	大蔵省資金運用部
8	9. 3.28	14,900,000	693,552	8,570,311	6,329,689	2.9	37.3	公営企業金融公庫
8	9. 5.26	38,100,000	1,577,298	19,868,921	18,231,079	2.6	39.3	大蔵省資金運用部
8	9. 5.30	10,500,000	486,586	6,109,755	4,390,245	2.65	37.3	公営企業金融公庫
9	10. 3.25	44,200,000	1,785,000	21,894,399	22,305,601	2.1	40.3	大蔵省資金運用部
9	10. 3.25	29,400,000	1,321,478	16,110,562	13,289,438	2.2	38.3	公営企業金融公庫
10	11. 3.25	55,700,000	2,202,919	25,341,482	30,358,518	2.1	41.3	大蔵省資金運用部
10	11. 3.30	48,900,000	2,150,264	24,735,769	24,164,231	2.1	39.3	公営企業金融公庫
11	12. 3.27	380,200,000	14,755,932	159,087,886	221,112,114	2.0	42.3	大蔵省資金運用部
11	12. 3.30	241,600,000	10,413,382	112,269,614	129,330,386	2.0	40.3	公営企業金融公庫
11	12. 3.27	57,800,000	2,243,274	24,185,375	33,614,625	2.0	42.3	大蔵省資金運用部
11	12. 3.30	38,600,000	1,663,727	17,937,116	20,662,884	2.0	40.3	公営企業金融公庫
12	13. 3.26	153,300,000	5,900,599	60,011,547	93,288,453	1.6	43.3	大蔵省資金運用部
13	14. 3.25	134,500,000	4,976,032	45,183,516	89,316,484	2.2	44.3	財政融資資金
14	15. 3.25	106,300,000	4,038,260	34,662,523	71,637,477	1.2	45.3	財政融資資金
15	16. 3.25	408,300,000	14,633,996	109,308,692	298,991,308	2.0	46.3	財政融資資金
15	16. 3.30	212,600,000	8,503,026	63,727,496	148,872,504	1.9	44.3	公営企業金融公庫
16	17. 3.25	165,500,000	5,774,383	37,998,342	127,501,658	2.1	47.3	財政融資資金
16	17. 3.30	5,700,000	221,117	1,455,061	4,244,939	2.1	45.3	公営企業金融公庫
16	17. 3.25	111,100,000	3,876,338	25,508,251	85,591,749	2.1	47.3	財政融資資金
16	17. 3.25	45,500,000	1,587,519	10,446,674	35,053,326	2.1	47.3	財政融資資金
17	18. 3.27	86,300,000	2,948,802	16,803,188	69,496,812	2.1	48.3	財政融資資金
18	19. 3.26	162,900,000	5,451,090	26,151,560	136,748,440	2.1	49.3	財政融資資金
19	20. 3.28	152,300,000	5,573,694	21,628,651	130,671,349	2.05	48.3	公営企業金融公庫
20	21. 3.25	191,100,000	6,953,568	20,472,369	170,627,631	1.9	49.3	地方公営企業等金融機構
21	22. 3.25	217,200,000	6,826,595	13,512,058	203,687,942	2.1	52.3	地方公共団体金融機構
22	22.12.22	10,400,000	331,602	495,066	9,904,934	1.9	52.9	地方公共団体金融機構
22	23. 3.30	177,700,000	5,612,616	5,612,616	172,087,384	1.9	53.3	地方公共団体金融機構
23	24. 3.29	155,000,000	0	0	155,000,000	1.7	54.3	地方公共団体金融機構
24	25. 3.28	55,400,000	0	0	55,400,000	1.5	55.3	地方公共団体金融機構
25	26. 3.27	331,000,000	0	0	331,000,000	1.4	56.3	地方公共団体金融機構
26	27. 3.26	372,400,000	0	0	372,400,000	1.2	57.3	地方公共団体金融機構
27	27.12.24	500,000,000	0	0	500,000,000	1.1	57.9	地方公共団体金融機構
27	28. 3.24	250,500,000	0	0	250,500,000	0.5	58.3	地方公共団体金融機構
27	28. 3.24	160,200,000	15,948,024	15,948,024	144,251,976	0.1	38.3	地方公共団体金融機構
28	28. 3.23	381,800,000	0	0	381,800,000	0.6	59.3	地方公共団体金融機構
合計		6,054,000,000	177,096,467	1,460,983,672	4,593,016,328			

## 借入金利別残高明細表

借入金利	政府資金(財政融資)	地方公共団体金融機構	合 計
11 人 亚 和	未償還残高	未償還残高	未償還残高
	円	円	円
1.0%未満	0	776,551,976	776,551,976
1.0%以上2.0%未満	164,925,930	1,915,292,453	2,080,218,383
2.0%以上3.0%未満	1,168,321,714	536,771,103	1,705,092,817
3.0%以上4.0%未満	0	0	0
4.0%以上5.0%未満	31,153,152	0	31,153,152
計	1,364,400,796	3,228,615,532	4,593,016,328

## 8 給水原価と供給単価

## (1)給水原価

目的別構成 (単位:円)

	区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
給水	原価	191.45	185.46	175.41	175.53	171.66
人	(件費	38.48	32.61	31.96	30.06	28.85
物	物件費 :		37.55	37.88	37.14	36.74
受	<b>於水費</b>	65.14	65.41	66.33	66.73	66.14
洞	战価償却費等	42.09	43.11	32.38	34.62	32.88
支	で払利息等	7.60	6.78	6.86	6.98	7.05

※平成26年度会計制度改正により、給水原価の算出方法が(経常費用-受託工事費)/年間有収水量から (経常費用-長期前受金戻入-受託工事費)/年間有収水量に変更になっています。

部門別構成 (単位:円)

Hb1 1/21 H1/2/					(十12.11)
区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
給水原価	191.45	185.46	175.41	175.53	171.66
原水及び浄水費	22.08	21.09	22.57	23.24	21.50
受水費	65.14	65.41	66.33	66.73	66.14
配水費	6.11	5.47	6.50	7.74	7.41
給水費	11.30	10.85	11.66	10.98	11.20
業務費	16.99	17.04	16.43	15.63	14.96
総係費	20.14	15.71	12.68	9.61	10.52
減価償却費	42.01	42.82	32.09	33.27	32.78
資産減耗費	0.08	0.29	0.29	1.35	0.10
支払利息	7.57	6.76	6.82	6.93	7.03
雑支出	0.03	0.02	0.04	0.05	0.02

※平成26年度会計制度改正により、給水原価の算出方法が(経常費用-受託工事費)/年間有収水量から (経常費用-<u>長期前受金戻入</u>-受託工事費)/年間有収水量に変更になっています。

(2)供給単価 (単位:円)

<u> </u>	· '// P					(
	区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
供給	単価	167.05	167.47	167.17	167.39	167.67

## (3)供給単価と給水原価の推移

(単位:円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
供給単価	167.05	167.47	167.17	167.39	167.67
給水原価	191.45	185.46	175.41	175.53	171.66
給水原価 - 供給単価	△ 24.40	△ 17.99	△ 8.24	△ 8.14	△ 3.99

## 9 経 営 分 析

## (1)業務分析

		項	目							复	第 出	基礎				
負		荷		率	(%)		1	月		平	均	配		水	量	-×100
只		1HJ			( /0 /		1	日		最	大	配		水	量	- /\ 100
施	設	利	用	率	(%)	_	1	日		平	均	配		水	量	-×100
ЛE	į,,	4.0	711		(70)		配			水		能			力	/\100
最	大	稼	働	率	(%)	_	1	日		最	大	配		水	量	-×100
以		125	139)		(70)		配			水		能			力	/\100
配	水管	使	用効	率	(m³/m)	_	年	ı	間	総		配	7.	k	量	_
ПЦ	/IV	1.	/11 ///1		(1117 1117		導	•	送	•	配	水	管	延	長	
固	定資	産使	用効	索	(㎡/万円)	_	年	ı	間	総		配		k	量	_
П		庄 仄	) l1 <i>) ) )</i> 3		(/ /4/14/		有	7	形	固		定	j	争	産	
有		収		率	(%)	_	年	間		総	有	収		水	量	-×100
11		-1/2		ı	(70)		年		間	総		配	7.	k	量	/\100
離	昌 1 人 🗎	当たり	給水人	П	(人)	_	現		玍	給		水	)	Ĺ.	П	_
ТНА	× 1 /\ .	J 7C /	/н / <b>ј</b> / / /				損	益	勘	定	所	属	職	員	数	
離	昌 1 人 音	当 た り	有収水	· 昰	$(m^3)$	_	年	間		総	有	収		水	量	_
1114	ę I Л :	J /C /	17 亿 小	、単	(111)		損	益	勘	定	所	属	職	員	数	
離	昌 1 人 🗄	当たり	給水巾	/	(円)	_	給			水		収			益	_
1114	R 1 /\ 1	日1人当たり給水収益		(11)		損	益	勘	定	所	属	職	員	数		
離	 昌 1 人 3	当 た り	営業収	,	(円)		営			業		収			益	_
11以	只 1 八:	= /C 9	日末収	· III.	(11)		損	益	勘	定	所	属	職	員	数	

<sup>※</sup>資本費の算出方法について, 平成24,25年度は減価償却費+企業債利息+受水費中の資本費相当額/年間総有収水量

#### (2)財務分析

(乙) 别务分别			
項目		算 出 方 法	
自己資本構成比率	(%)	資本金+剰余金+繰延収	<u>益</u> ×100
	( /0 )	負 債 + 資	本
固定資産対長期資本比率	(%)		<u>産</u> ×100
回 C 真 座 内 C 别 真 平 L 平	( /0 /	固定負債+資本+繰延収	益
流 動 比 率	(%)		<u>産</u> ×100
70 70 70	( /0 /	流動負	債 / 100
総収益対総費用比率	(%)		益 —×100
	( /0 /		用
営業収益対営業費用比率	(%)		<u>益</u> ×100
	(707		用
企業債償還額対減価償却費比率	(%)	-	金 —×100
正不良反应 既 八 灰 画 反 不 页 5 1	(70)		入
企業債償還元金	(%)		金 ×100
	(70)		入
企業債利息	(%)	-	息 ×100
	(70)		入
企業債元利償還金	(%)		金 ×100
	(70)		入
職 員 給 与 費	(%)	-	費 —×100
A NH J S	(70)	料金収	入

<sup>※</sup>自己資本構成比率の算出方法について,平成24,25年度は自己資本金+剰余金/負債+資本

<sup>※</sup>固定資産対長期資本比率の算出方法について, 平成24,25年度は固定資産/固定負債+資本

<sup>※</sup>企業債償還額対減価償却額比率の算出方法について,平成24,25年度は企業債償還元金/減価償却額

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
90.81	87.67	88.68	90.56	90.66
58.28	57.57	55.61	54.58	55.26
64.18	65.67	62.71	60.28	60.95
44.99	44.14	42.57	41.91	42.15
10.86	10.51	9.94	9.32	9.38
92.77	93.78	95.73	96.96	96.09
2,852	2,772	2,859	2,966	3,149
312,929	302,485	307,302	315,894	337,135
52,274,991	50,656,216	51,370,130	52,876,389	56,527,388
54,449,394	53,940,163	53,819,850	55,435,674	60,142,799

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
65.20	65.61	61.98	59.34	59.59
94.96	96.85	94.64	93.27	90.79
205.43	253.23	178.37	210.10	296.30
101.96	105.42	92.95	111.00	114.54
93.46	96.97	95.62	95.80	99.55
80.64	57.6	81.48	66.85	53.42
20.28	14.73	15.64	13.29	10.44
4.53	4.03	4.08	4.14	4.19
24.81	18.76	19.72	17.43	14.64
23.73	20.14	19.45	18.28	17.55

## 10 水道事業ガイドライン

## 1) 水道事業ガイドラインとは

水道事業ガイドラインは,

- ① 国際標準化機構(ISO)における上下水道事業のサービスに関する国際規格化
- ② 厚生労働省が策定した「水道ビジョン」に関連して水道事業の活動結果を定量化する基準、尺度として、平成17年1月に作成され、日本水道協会規格として正式に承認されました。なお、水道事業を取り巻く環境の変化等を受けて、平成28年3月に規格が改正されています。

## 2) 水道事業ガイドラインの概要

(1) 適用範囲

水道事業ごとに適用されます。

#### (2)業務指標

水道事業ガイドライン業務指標 (PI) の活用を基本とし、「持続ある水道」「安心で安定した水道」「環境への配慮と情報公開」の3つの目標を設定し、50項目の業務指標を設け、業務の目標管理を行います。そして、その指標ごとに計算式と結果数値が示されています。

【持続ある水道】 (27項目)

【安心で安定した水道】 (16項目)

【環境への配慮と情報公開】 (7項目)

# 3)水道事業ガイドラインの業務指標

## 1. 持続ある水道

PI	業務指標名	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	計算式
3001	営業収支比率	%	97.53	95.87	96.02	99.80	[(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)]×100
3002	経常収支比率	%	99.79	104.98	106.14	107.32	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+ 営業外費用)]×100
3003	総収支比率	%	105.42	92.95	111.00	114.54	(総収益/総費用)×100
3004	累積欠損金比率	%	15.98	0	0	0	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100
3005	繰入金比率 (収益的収支分)	%	1.2	1.0	3.1	0.4	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100
3007	職員一人当たり 給水収益	千円/人	50,656	51,370	52,876	56,527	(給水収益/損益勘定所属職員数) /1000
3008	給水収益に対する 職員給与費の割合	%	20.1	19.5	18.3	17.6	(職員給与費/給水収益)×100
3009	給水収益に対する 企業債利息の割合	%	4.03	4.08	4.14	4.19	(企業債利息/給水収益)×100
3010	給水収益に対する 減価償却費の割合	%	25.57	26.59	27.52	26.98	(減価償却費/給水収益)×100
3011	給水収益に対する建 設改良のための企業 債償還元金の割合	%	14.73	15.64	13.29	10.44	(建設改良のための企業債償還元金 /給水収益)×100
3012	給水収益に対する 企業債残高の割合	%	208.74	218.41	259.35	270.84	(企業債残高/給水収益)×100
3013	料金回収率	%	90.3	95.3	95.4	97.7	(供給単価/給水原価)×100
3014	供給単価	円/㎡	167.47	167.17	167.39	167.67	給水収益/年間総有収水量
3015	給水原価	円/㎡	185.46	175.41	175.53	171.66	[経常費用-(受託工事費+材料及び不 用品売却原価+附帯事業費+長期前受 金戻入)]/年間総有収水量
3018	有収率	%	93.78	95.73	96.96	96.09	(年間有収水量/年間配水量)×100
3019	施設利用率	%	57.6	55.6	54.6	55.3	(一日平均配水量/施設能力)×100
3020	最大稼働率	%	65.7	62.7	60.3	61.0	(一日最大配水量/施設能力)×100
3021	負荷率	%	87.7	88.7	90.6	90.7	(一日平均配水量/一日最大配水量) ×100

3022	流動比率	%	253.2	178.4	210.1	296.3	(流動資産/流動負債)×100
3023	自己資本構成比率	%	65.6	62.0	59.3	59.6	[(資本金+剰余金+評価差額など+繰延 収益)/負債・資本合計]×100
3024	固定比率	%	137.5	142.9	148.1	145.5	[固定資産/(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)]×100
3025	企業債償還元金対 減価償却費比率	%	57.6	58.8	48.3	38.7	(建設改良のための企業債償還元金/ 当年度減価償却費)×100
3026	固定資産回転率	□	0.04	0.04	0.04	0.04	(営業収益-受託工事収益)/(期首固定資産+期末固定資産)/2)
3027	固定資産使用効率	㎡/万円	10.5	9.9	9.3	9.4	(年間配水量/有形固定資産)×10000
5008	検針委託率	%	87.7	96.5	100	100	(委託した水道メーター数/水道メーター設置数)×100
	自動検針率	%	12.3	3.5	0	0	(自動検針した水道メーター数/水道メ ―ター設置数)×100
5107	漏水率	%	4.47	3.61	2.29	3.38	(年間漏水量/年間配水量)×100

## 2. 安心で安定した水道

PI	業務指標名	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	計算式
1115	直結給水率	%	55.6	56.1	55.6	56.6	(直結給水件数/給水件数)×100
2001	給水人ロー人当たり 貯留飲料水量	L/人	119	119	118	119	[((配水池有効容量×1/2)+緊急貯水槽容量)/現在給水人口]×1000
	浄水予備力確保率	%	54.7	54.3	53.8	55.1	[(全浄水施設能力-一日最大浄水量) /全浄水施設能力]×100
2004	配水池貯留能力	目	0.68	0.71	0.72	0.71	配水池有効容量/一日平均配水量
2103	法定耐用年数超過管 路率	%	29.3	28.9	29.5	28.8	(法定耐用年数を超えている管路延長/管路延長)×100
2104	管路の更新率	%	1.87	1.32	0.51	1.26	(更新された管路延長/管路延長)× 100
	バルブの更新率	%	2.36	2.65	0.25	0.50	(更新されたバルブ数/バルブ設置数) ×100
2205	応急給水施設密度	箇所/100㎞	176.0	176.0	176.0	176.0	(応急給水施設数/現在給水面積)× 100
2207	浄水施設の耐震化率	%	17.6	17.6	17.6	17.6	(耐震対策の施された浄水施設能力/ 全浄水施設能力)×100
2209	配水池の耐震化率	%	28.0	28.0	28.0	28.0	(耐震対策の施された配水池有効容量 /配水池等有効容量)×100

2210	管路の耐震管率	%	36.0	37.2	37.6	38.8	(耐震管延長/管路延長)×100
2213	給水車保有度	台/1000人	0.011	0.011	0.011	0.011	(給水車数/現在給水人口)×1000
	可搬ポリタンク・ポリ パック保有度	個/1000人	25.3	31.8	27.7	27.7	(可搬ポリタンク・ポリパック数)/現在 給水人口×1000
2215	車載用の給水タンク 保有度	㎡/1000人	0.018	0.018	0.018	0.018	(車載用給水タンクの容量/現在給水人口)×1000
3112	直接飲用率	%	1	-	-	72.1	(直接飲用回答数/アンケート回答数) ×100
	バルブ設置密度	基/km	17.2	17.5	17.5	17.7	バルブ設置数/管路総延長

## 3. 環境への配慮と情報公開

PI	業務指標名	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	計算式
3201	広報誌による情報の 提供度	部/件	1.0	1.0	1.0	1.0	広報誌などの配布部数/給水件数
3203	アンケート情報収集 割合	人/1000人	ı	-	1	11.41	(アンケート回答人数/現在給水人口) ×1000
3204	水道施設見学者割合	人/1000人	2.6	4.4	3.7	2.7	(見学者数/現在給水人口)×1000
4001	配水量1㎡当たり 電力消費量	kWh/m³	0.06	0.05	0.06	0.06	電力使用量の合計/年間配水量
4002	配水量1㎡当たり 消費エネルギー	MJ/m³	0.58	0.51	0.54	0.52	エネルギー消費量/年間配水量
4005	建設副産物の リサイクル率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	(リサイクルされた建設副産物量/建設 副産物発生量)×100
4006	配水量1㎡当たり二 酸化炭素(CO2)排出 量	g•CO2/m³	29.0	25.4	27.0	26.2	[二酸化炭素(CO2)排出量/年間配水 量]×10 <sup>6</sup>

# 第6編 資 料

## 第6編 資料

#### 1 災害対策

## (1) 災害時に備える耐震性貯水槽

芦屋市では,災害時に水道管が破裂した際,必要な飲料水を確保するため, 避難所となる主要な小学校や公園等に耐震性貯水槽を10基設置しています。

災害時においては、1人1日あたり3リットルの飲料水を必要とし、芦屋市地域防災計画では、発災後3日分の飲料水確保を目標としています。10基の耐震性貯水槽により、約10万6千人の方に3日分の飲料水を供給することが可能です。

応急給水時には小学校等の防災倉庫に配備された、手動ポンプまたはエンジンポンプを使って水を汲み上げて給水することができます。

# ウイング ポンプ 総水スタンド 耐震・緊急用貯水槽

【応急給水イメージ図】

平成 21 年度 西芦屋ポケットパーク (耐震性貯水槽 60 ㎡)



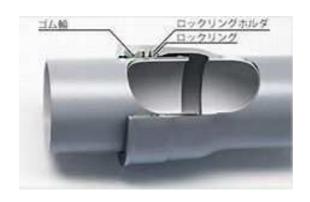


平成15年度 岩園小学校(耐震性貯水槽100 m³)



## (2) 管路の耐震化

地震発生時に管路継手が破損や抜け出すことのないよう、老朽管路の更新時に合わせ、離脱防止機能を備えた高性能管材(GX形ダクタイル鋳鉄管)を使用し耐震および耐食性に優れた管路に布設替えを行っています。



## (3) 災害協定

大規模災害が発生した場合、水道部局のみでの対応では十分な災害対応ができないことが想定されます。そのため、他の水道事業体や民間団体等と協定を結び、早急な災害体制を築くため、別表のとおり災害等に係る協定を締結しています。

#### 別表 災害関連協定一覧表

No.	協定先	協定締結年度	協定内容
1	芦屋市水道工事業協同組合	平成 11 年度	緊急時における応急給水·応急復旧工事の応援協 定
2	神戸市水道局	平成 16 年度	山手幹線道路(神戸市東灘区森北町と芦屋市三条 町の市境)緊急時連絡管の設置及び運用に関する 協定
3	兵庫県企業庁	平成 17 年度	兵庫県水道災害相互応援に関する協定
4	㈱光明製作所	平成 19 年度	災害時における仮管資材の応援要請に関する協 定
5	西宮市上下水道局	平成 19 年度	山手幹線道路(芦屋市翠ケ丘町と西宮市大谷町の 市境)緊急時連絡管の設置及び運用に関する協定
6	神戸市水道局	平成 28 年度	国道 43 号線(神戸市東灘区深江本町と芦屋市平田北町の市境)緊急時連絡管の設置及び運用に関する協定

#### 2 防災訓練

#### 1)訓練の概要

緊急時の応急給水について職員が迅速に対応できるよう定期的に訓練を行っている。

#### ○仮設給水栓設置訓練(平成28年度)

実施日:平成28年11月24日(木) 場 所:本庁舎東館(給水車への注水)

潮見水道資材倉庫(給水車の操作訓練,仮管,給水栓の組立て)

内 容:東館の県道沿いに設置している水道水の採水口から給水車へ注水し、潮見水道資 材倉庫にて、仮管及び応急給水栓を組立て、給水車のホースと仮管を接続し、応 急給水訓練を行った。加えて、ポリ容器への重力式給水と加圧式給水を行い、車 載バルブ操作の訓練を行った。この訓練は本市と災害応援協定を結んでいる株式 会社光明製作所と芦屋市水道工事業協同組合と合同で行った。

#### ○応急給水訓練(平成27年度)

実施日:平成27年10月27日(火),29日(木)

場 所:シスメックス(株)GCC 大阪ガス(株)奥池ロッジ 芦有ドライブウェイ(株)

内 容:潮見水道資材倉庫にて消火栓の仕切弁操作及び給水車バルブ操作の習熟訓練及び 給水時の注意点の確認を行い、シスメックス及び大阪ガス敷地内にて給水車に重 力給水訓練、芦有ドライブウェイ敷地内にて給水車による加圧給水訓練を行った。

#### ○合同防災訓練(応急給水訓練)(平成26年度)

実施日:平成26年8月31日(日)

場 所:潮芦屋フリーゾーン (メイン会場)

内 容:広報車と給水車にて会場外周道路を広報活動し、避難所前にて停車し、避難住民 にポリタンク及び給水袋等で応急給水を行った。

#### ○給水車操作説明会(平成25年度)

実施日:平成25年4月17日(水)場 所:上下水道部材料倉庫(潮見町)

内 容:給水車取扱説明書を基に操作説明を行い,走行練習を行った。

#### ○水道事業防災マニュアルに基づく応急給水訓練 (平成25年度)

実施日:平成25年6月17日(月) 平成25年6月18日(火) 平成25年6月18日(火)

平成25年6月19日(水) ※訓練内容は3日とも同様

場 所:潮見水道資材倉庫

芦屋市総合公園

内 容: 潮見水道資材倉庫にて給水車によるバルブ操作訓練, 給水車運転になれるための 走行訓練(約4km), 総合公園にて給水車からのバルーンへの給水活動を行った。

## ○水道部防災訓練(平成24年度)

実施日:平成24年10月25日(木)

場 所:西芦屋ポケットパーク内

内容:市職員と地元自主防災会との合同による耐震性貯水槽の操作訓練,市民による給

水車・バルーンからの応急給水訓練、防災倉庫内の備品等の確認を行った。

## 2) 防災訓練の状況

① 神戸市と芦屋市の間に締結した,緊急時連絡管の相互の確認と緊急時の対応に備え,市境バルブの操作訓練を現地で実施しました。





(平成29年2月23日(木)13:30~国道43号歩道市境にて)

② 光明製作所と芦屋市の間で締結した,緊急時仮設配管材料の応援協定に基づき,仮管の配管及び仮設給水栓の組立ての確認を行いました。





(平成28年11月24日(木)9:30~11:00,13:00~15:00水道資材倉庫にて)

③ 災害時における市民への迅速な給水対応を行うため、芦屋市上下水道部と阪神水道企業団と連携強化を図る実働訓練及び情報交換を実施した。





(平成 26 年 1 月 29 日 13:30~芦屋調整池・高座川横坑)

## 3 研修実施状況

## 1) 水道業務課

#### ○㈱光明製作所工場見学

実施日:平成28年5月25日,26日

場 所: ㈱光明製作所(本社) 大阪府和泉市テクノステージ1丁目4-20

内 容:株式会社光明製作所本社工場において給水装置材料の製造プロセス,性能,品質

管理について視察を行った。

#### ○講習会~水道メーターについて~

実施日:平成28年7月4日(月) 場 所:本庁舎東館3階大会議室

内容:愛知時計電機株式会社による量水器の種類,計測方法,性能,維持管理について

の詳細説明があった。

## 2) 水道工務課

年度別	設計図作成	積算システム	大阪市水道局	県建設技術セ
研修参加人数	CAD研修	操作研修	技術研修	ンター研修
平成 24 年度	3名	_	_	_
平成 25 年度	3名	5名	6名	_
平成 26 年度	2名	_	2名	2名
平成 27 年度	_	_	2名	_
平成 28 年度	_	_	_	_

## 4 論文・学会発表状況

年度	論文内容	提出先
平成 16 年度 <sup>第55 回全国水道研究発表会</sup> (京都市)	外部補強方式によるステンレス製矩形配水池の建設 第7期拡張事業として、六麓荘北部区域の水圧不足 解消のため、高区配水池(600 ㎡)を計画すること となった。建設予定地の地形や住宅地を通る幅員の 狭い搬入ルートなど課題をクリアし、本市初のパネ ル式ステンレス配水池を築造した工法等の報告を 行った。 芦屋市水道部	日本水道協会
平成 17 年度 <sup>第 56 回全国水道研究発表会</sup> (米子市)	管網解析ソフトを用いた効率的な管網更新計画の検討市の北部山間地域に位置する奥池地区の配水管において経年劣化(30年経過)による漏水等の問題が生じている。管網解析ソフト MIKE-NET を用いて現況管網の水理・水質解析及びコスト解析を行い、水圧・水質管理、危機管理、省エネ、コスト縮減に配慮した効率的な管網更新計画の検討事例を発表した。 芦屋市水道部と建設技術研究所の共同発表	日本水道協会
平成 19 年度 <sup>第 58 回全国水道研究発表会</sup> (釧路市)	管網解析ソフトを用いた残留塩素濃度低下改善策の検討市街地を対象に、残留塩素濃度の計測値を整理し評価したところ、六麓荘給水区域の残留塩素の低下が著しいことが明らかとなった。当区域は調整池や減圧弁を用い水圧調整をしており、今回、管網解析ソフト MIKE-NET を用いた水理・水質解析による効果的な改善策の検討結果を発表した。 芦屋市水道部と建設技術研究所の共同発表	日本水道協会
平成 21 年度 <sup>第60 回全国水道研究発表会</sup> (埼玉市)	芦屋市における配水管路更新計画の策定 平成20年に通水70周年を迎え,管路1/4が耐用年数 を超えた経年化管路となっている。一方で水需要の伸 び悩みで給水収益が見込めない中,限られた予算の中 で管路更新事業を計画的に推進し,地震災害への安全 性を高めなければならない。芦屋市では,水道施設更 新指針(日本水道協会)を参考に,本市の実情にあわ せた実施可能な更新計画の策定について発表した。 芦屋市水道部と建設技術研究所の共同発表	日本水道協会

	既設水道メーター用ピットに対応したメーターバイパスユニット	
	直結給水方式の拡大に伴う水道メーター交換作業時	
平成 28 年度	の断水を避けるため、既設のメーターボックス内にバ	
第 67 回全国水道研究発表会	イパス配管を設置することで施主の経済的負担を軽	日本水道協会
(京都市)	減できるバイパスユニット配管を開発し、その効果を	
	発表した。	
	芦屋市上下水道部と光明製作所の共同開発	

# 平成 28 年度 芦屋市水道事業誌

発 行 日 平成29年10月1日

編集·発行 芦屋市上下水道部

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

電 話 0797-38-2080

FAX 0797-38-2165

